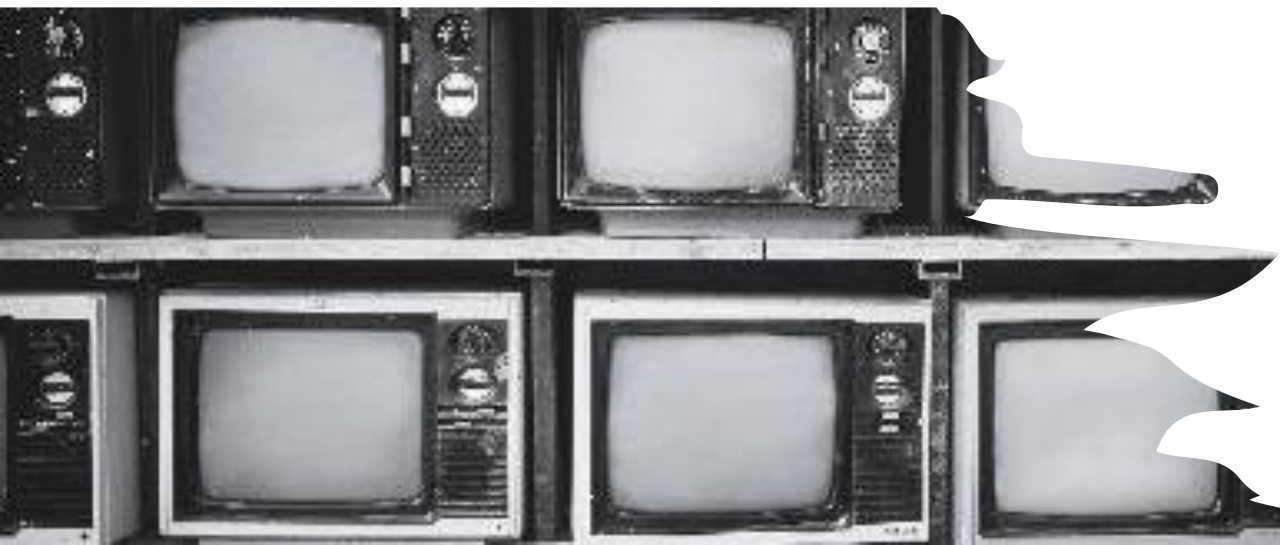




日本のエレクトロニクスを 隆盛へと先導した 電子部品発展の100年のあゆみ

1924年-2024年



1920年代
大正から昭和へ
文化・社会が大きく変革する中で
ラジオが誕生

1920年代 ラジオ時代：大正から昭和へ文化・社会が大きく変革する中でラジオが誕生

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動
1920年	大正9年	● 国際連盟発足	● 米国で世界初のラジオ放送開始		
1921年	大正10年				
1922年	大正11年	● ソビエト社会主義共和国連邦成立(ソ連)	● 放送用私設無線電話規則公布		
1923年	大正12年	● 関東大震災	● 放送用私設無線電話細則制定		
1924年	大正13年	● 第二次護憲運動	● 国産初真空管式ラジオ受信機ジュノラ6A型(東芝)	● タムラ製作所(田村ラヂオ商会 設立)	
1925年	大正14年	● 普通選挙法公布	● ラジオ放送開始 ● 八木・宇田アンテナの発明 ● 国産第1号鉱石ラジオ受信機(シャープ)	● SMK(池田無線電機製作所 創業)	
1926年	昭和元年		● 日本放送協会(NHK)設立 ● 世界初電子式テレビジョン実験成功		
1927年	昭和2年	● 地下鉄(上野-浅草)開通			
1928年	昭和3年		● 世界初ブラウン管テレビ実験成功		
1929年	昭和4年	● 世界恐慌	● 英国でテレビ実験放送		

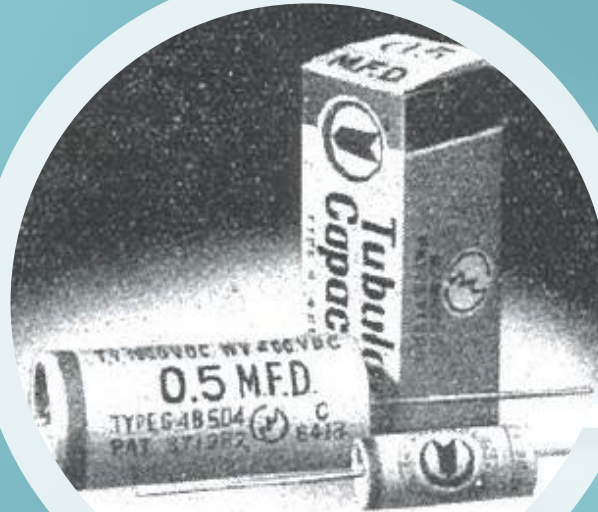
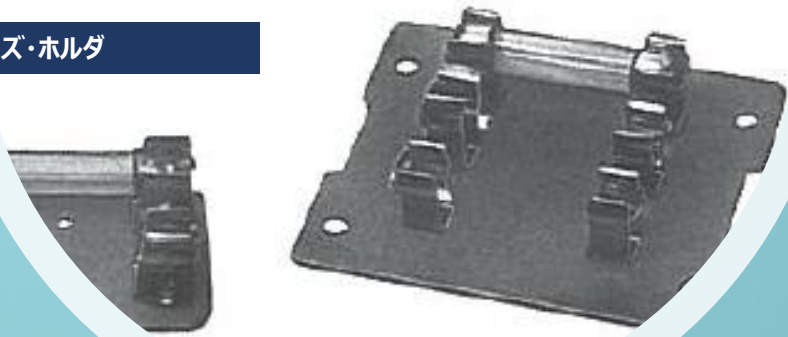


1930年代
マスメディアが発展して
ラジオが情報源の中心に

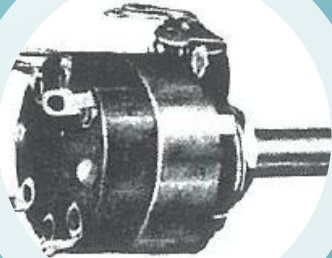
1930年代 ラジオ時代：マスメディアが発展してラジオが情報源の中心に

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動
1930年	昭和5年		● 電気冷蔵庫、洗濯機の製造開始(東芝) ● 世界初のカーラジオ開発(Motorola)		
1931年	昭和6年	● 満州事変		● 日本ケミコン(佐藤電機工業所 設立) ● 日本初の電解コンデンサ生産(日本ケミコン)	
1932年	昭和7年	● 5.15事件		● 本多通信工業(本多螺子製作所 設立) ● 浜井電球工業(濱井電球製作所 創立)	
1933年	昭和8年	● 日本が国際連盟脱退		● オムロン(立石電機製作所 創業) ● レントゲン写真撮影用タイマ(オムロン) ● ラジオセット(コイル、トランス、抵抗など)の生産、販売を開始(パナソニック インダストリー)	
1934年	昭和9年				
1935年	昭和10年		● ドイツでベルリンオリンピックのテレビ中継	● TDK(東京電気化学工業 設立) ● ラジオ用低周波トランス(タムラ製作所)	
1936年	昭和11年	● 2.26事件	● 英国でテレビ放送開始		
1937年	昭和12年	● 日中戦争(日華事変)勃発		● ヒロセ電機(廣瀬商会 創業) ● フェライトコア(TDK)	
1938年	昭和13年	● 国家総動員法公布		● 双信電機(双信電機製作所 創業) ● マイカコンデンサ(双信電機)	
1939年	昭和14年	● 第二次世界大戦勃発	● 日本初テレビ公開実験(NHK)		

ヒューズ・ホルダ



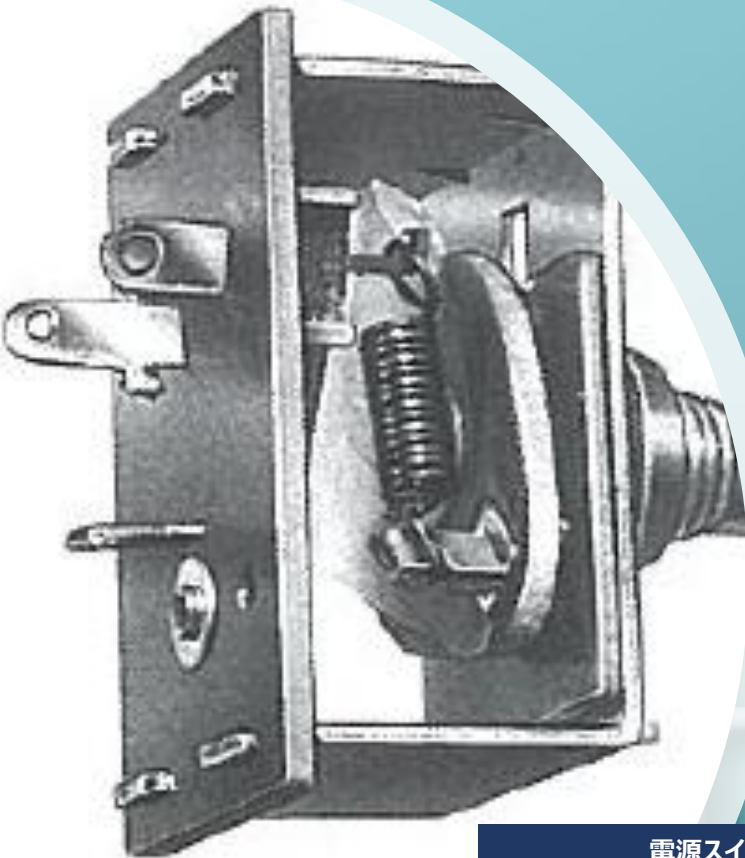
チューブラ・コンデンサ



スイッチ付き炭素系皮膜可変抵抗器



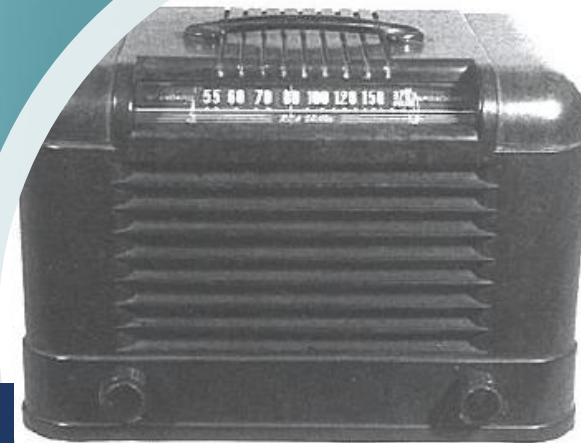
並4ラジオ受信機（その1）
提供：NHK放送博物館



電源スイッチ

1940年代 戦中・戦後の混乱から 飛躍への糸口となったラジオ

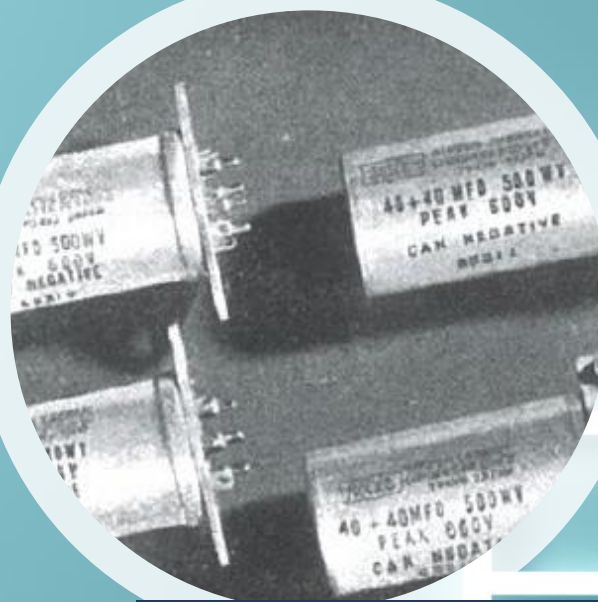
昭和天皇の使用したラジオ（同型）
提供：NHK放送博物館



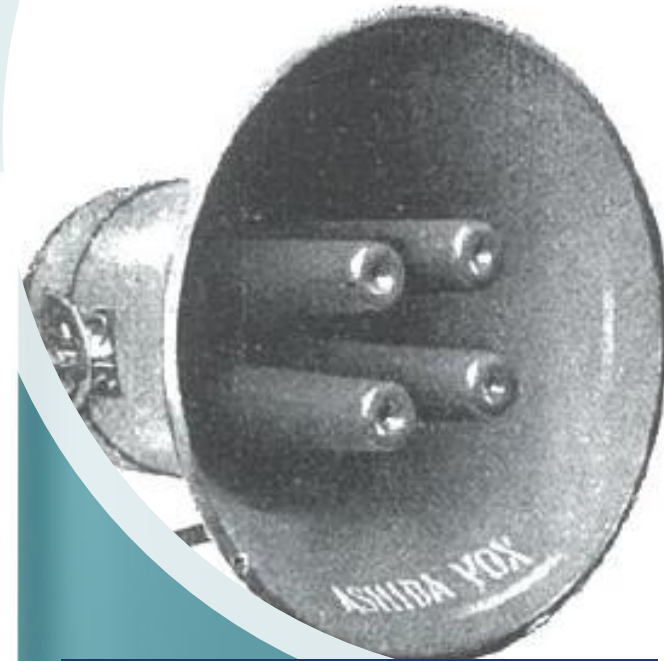
1940年代 ラジオ時代：戦中・戦後の混乱から飛躍への糸口となったラジオ

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動
1940年	昭和15年	● 日独伊三国軍事同盟条約調印		● KOA(興亜工業社 創立) ● 炭素被膜固定抵抗器の製造(KOA)	
1941年	昭和16年	● 太平洋戦争勃発(真珠湾攻撃)		● 大同電気工業 創立 ● 国内初マイクロスイッチ国産化(オムロン)	
1942年	昭和17年	● 関門トンネル開通			
1943年	昭和18年	● イタリア無条件降伏		● 北陸電気工業(北陸電気科学工業 創立) ● 炭素皮膜固定抵抗器(北陸電気工業)	
1944年	昭和19年	● 連合軍パリ解放		● 村田製作所 創業 ● 酸化チタン[TiO2]セラミックコンデンサ(村田製作所) ● 帝国通信工業 設立 ● 可変抵抗器(帝国通信工業)	

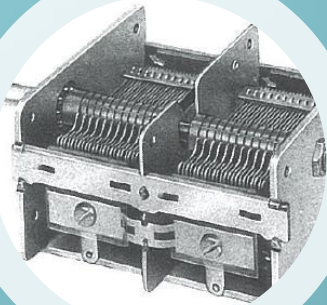
三越デパートで開催された
「伸びゆく電波と電気通信展」



戦後間もない頃のコンデンサ



戦後間もない頃のラウンドスピーカ（拡声器用）



同調用二連バリコン



終戦の勅語放送に用いた円盤レコード
提供：NHK放送博物館

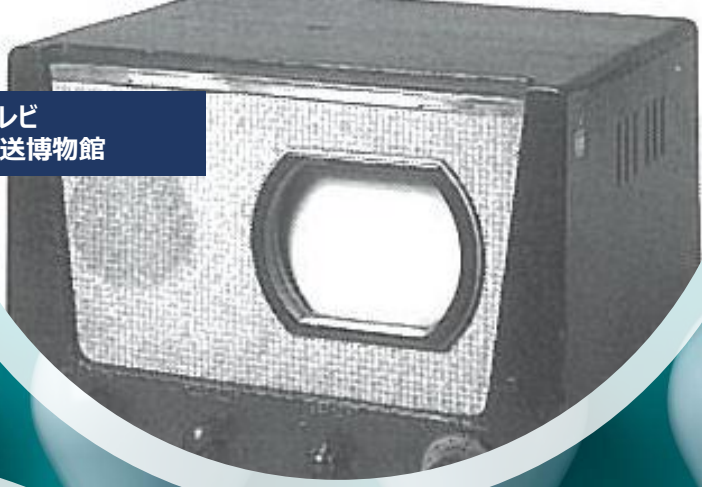
1940年代 戦中・戦後の混乱から 飛躍への糸口となったラジオ



戦後の電子部品メーカー工場風景

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1945年	昭和20年	● 太平洋戦争(第二次世界大戦) 終結 ● 国際連合発足	● 電波管制解除。短波放送の 聴取許可		
1946年	昭和21年	● 経済団体連合会 設立 ● 日本商工会議所 設立	● 米国で世界初汎用電子計算 機ENIAC稼働開始		● 日本通信機械工業会設立。真空管の検 査開始。ラジオ受信機の検査開始
1947年	昭和22年	● 日本国憲法施行	● 国際電気通信(株)、日本電 信電話工事(株)を逡信省へ 統合。	● ホシデン(古橋製作所 創業) ● スーパーヘテロダイン方式ラジオ中間周波トランス (IFT)用コア(TDK) ● 世界初、馬蹄型有鉄心マグネットモーター(マブチモーター) ● 真空管ソケット(SMK) ● 輸送用中継線輪発売(タムラ製作所) ● L型炭素皮膜固定抵抗器発売(北陸電気工業)	● GHQ、独禁法により全ての統制機関の閉 鎖を指示、日本通信機械工業会も閉鎖 される
1948年	昭和23年	● 第1次中東戦争	● 日米国際電話再開 ● ラジオ受信機の配給制度廃止 ● 米国でトランジスタ発明	● アルプスアルパイン(片岡電気 創業) ● ロータリスイッチ「S型」販売(アルプスアルパイン) ● スミダコーポレーション(墨田電気商会設立) ● 真空管式ラジオ用コイル生産開始(スミダコーポレーショ ン)	※3,400百万円 ● 無線通信機械工業会(後のEIAJ)、有 線通信機械工業会(後のCIAJ)、通信電 線会設立 ● 電子部品部会の母体である部品懇談会 発足
1949年	昭和24年	● 中華人民共和国 建国 ● 東西ドイツ成立	● 日本、国際電気通信連合 (ITU)に加盟 ● 工業標準化法公布(JIS制 定着手) ● 米国でトランジスタの量産開 始 ● ソ連でテレビ放送開始	● 新電元工業 設立 ● チタン酸バリウム[BaTiO3]磁器コンデンサ(村田製作所) ● エアーバリコン販売(アルプスアルパイン)	※2,300百万円 ● 第1回伸び行く電気通信展

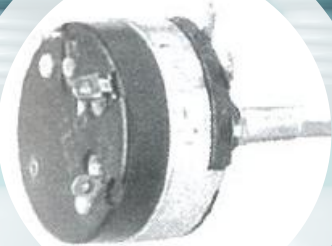
普及型テレビ
提供：NHK放送博物館



AMラジオ用セラミック・フィルタ

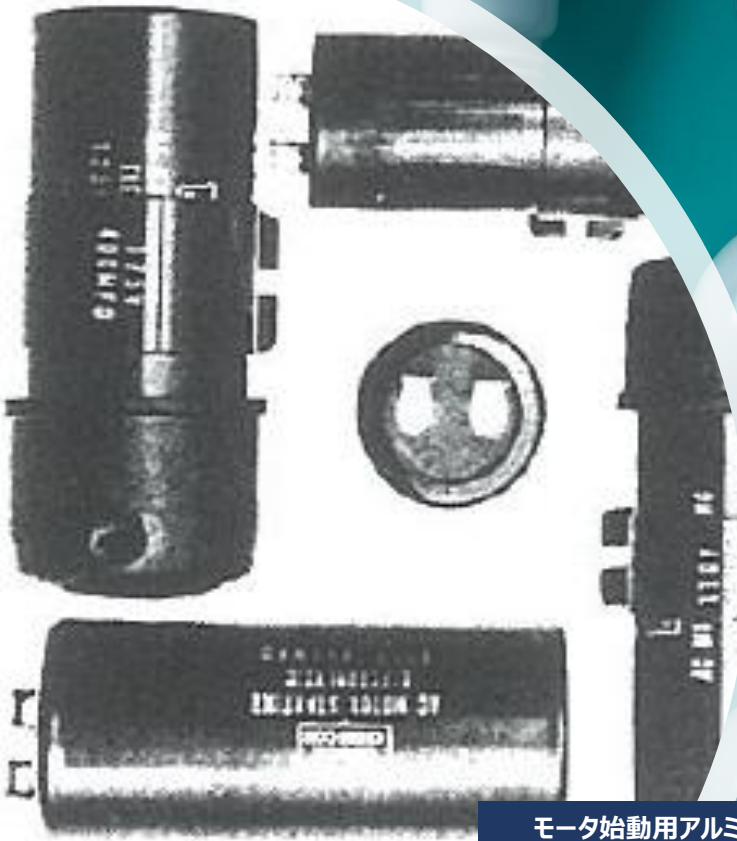


真空管式ポータブル・ラジオ用IFT

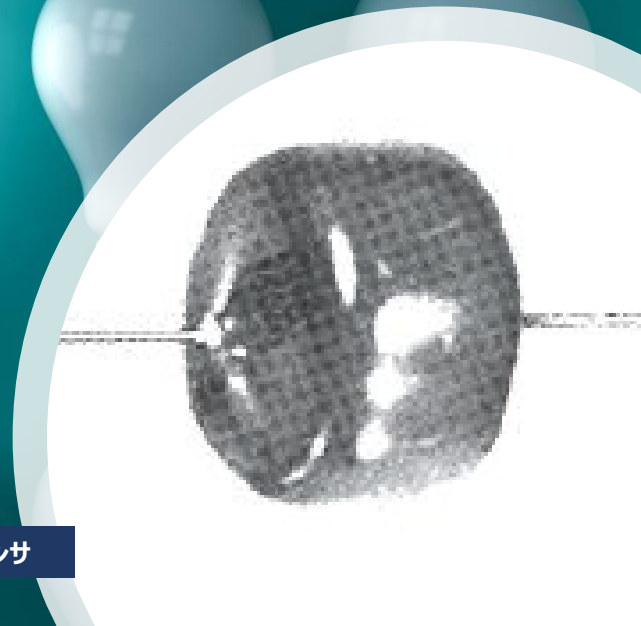


同調用二連バリコン

1950年代 高度経済成長期に入り 情報源が白黒テレビに移行



モータ始動用アルミ電解コンデンサ



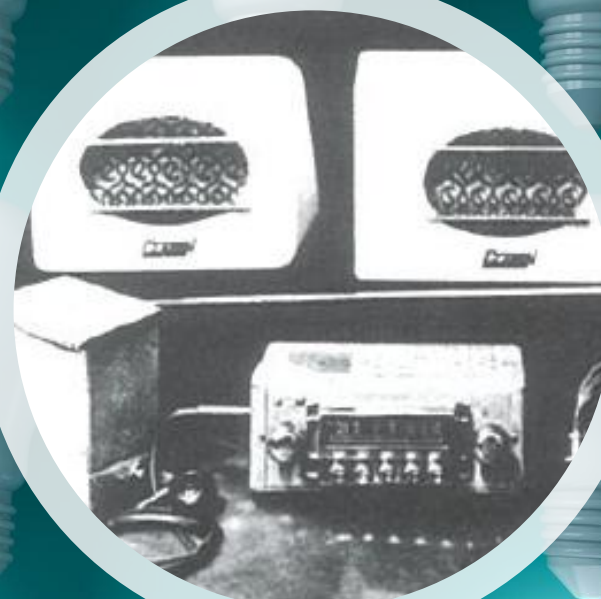
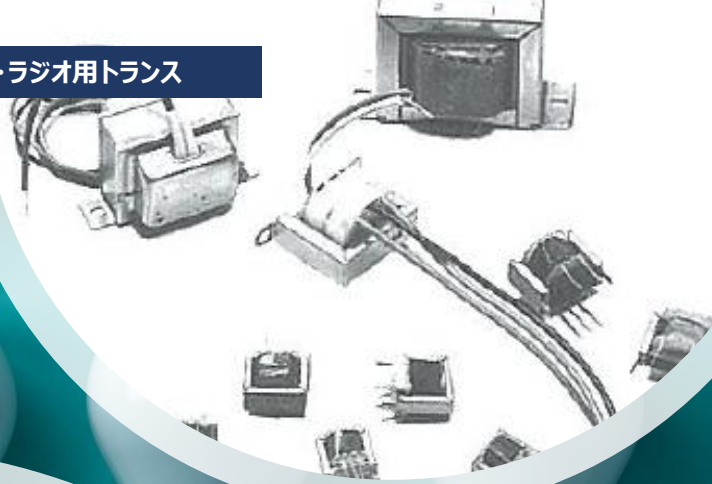
民生用中高圧、高圧磁器コンデンサ

1950年代

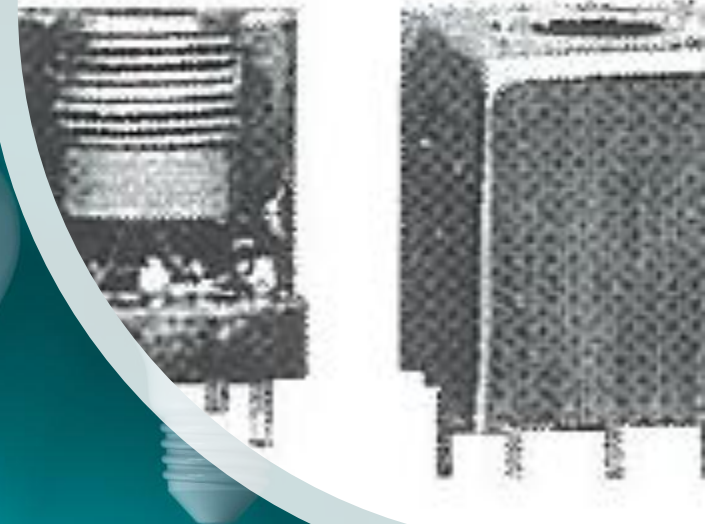
白黒テレビ時代：高度経済成長期に入り情報源が白黒テレビに移行

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1950年	昭和25年	● 朝鮮戦争勃発	● テレビ実験局開設(NHK) ● テレビジョン学会設立	● 太陽誘電 設立 ● 大容量円筒型チタン酸バリウム系コンデンサ商品化(太陽誘電) ● ニチコン(関西二井製作所 設立) ● FDK(東京電気化学工業→富士電気化学 設立) ● バリコン開発(パナソニック インダストリー)	※4,400百万円 ● ラジオ受像機改善委員会発足
1951年	昭和26年	● サンフランシスコ平和条約調印 ● 日米安全保障条約調印	● 民放ラジオ放送開始(中部日本放送、新日本放送)	● テレビ用偏向ヨークコア、フライバックトランスコア開発(TDK) ● 小型大容量円筒型酸化チタン系コンデンサを商品化(太陽誘電) ● 馬蹄形炭素被膜可変抵抗器開発(帝国通信工業)	※5,900百万円
1952年	昭和27年	● GHQ廃止	● 日本電信電話公社設立 ● 白黒テレビ発売 ● NHKラジオ受信者1,000万突破	● ルビコン(日本電解製作所 創業) ● 円板型セラミックコンデンサ量産化(村田製作所) ● 放送用低周波変成器開発(タムラ製作所) ● 炭素皮膜系可変抵抗器発売(パナソニック インダストリー) ● トーンスイッチ商品化(ホシデン)	※5,461百万円 ● テレビ研究会設立
1953年	昭和28年	● 朝鮮戦争休戦協定調印	● 白黒テレビ本放送開始(NHK/日本テレビ) ● 国際電信電話会社設立	● 日本航空電子工業 創業 ● 多チャンネル受信用チューナ量産(パナソニック インダストリー) ● P型炭素皮膜抵抗器開発(KOA) ● シルバードマイカコンデンサ開発(双信電機) ● 高信頼性ネジ式ヒューズホルダー開発(SMK) ● 高信頼のラグ板商品化(ホシデン)	※5,991百万円

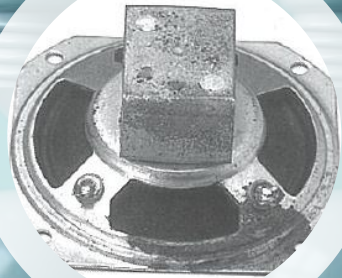
トランジスタ・ラジオ用トランス



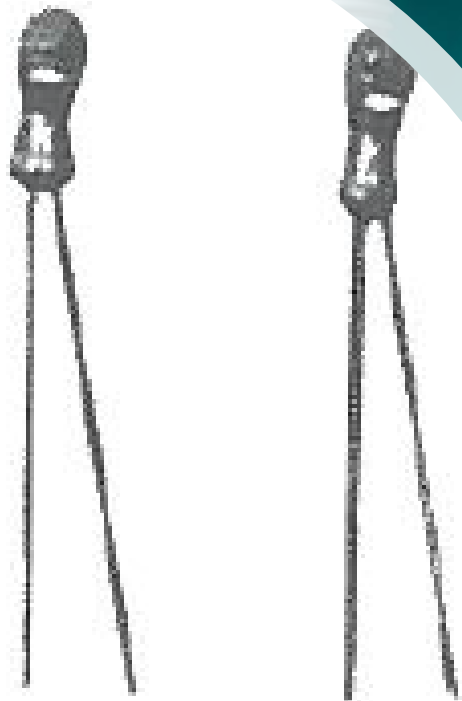
カー・ラジオ
提供：クラリオン(株)



トランジスタ・ラジオ用IFT



最初のトランジスタ・ラジオに使用されたスピーカ



トランジスタ・ラジオ用炭素被膜抵抗器

1950年代
高度経済成長期に入り
情報源が白黒テレビに移行



ポケット型トランジスタ・ラジオ
提供：ソニー(株)

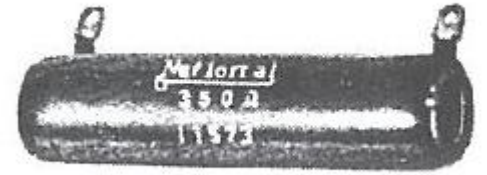
西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1954年	昭和29年	● 自衛隊発足	● NHK大阪、名古屋テレビ局開局 ● 日本短波放送開始 ● トランジスタ生産(ソニー)	● ローム(東洋電具製作所 創業) ● マブチモーター（東京科学工業 創立） ● 平行リード型固定抵抗器(ローム) ● テレビ用6chロータリチューナ生産(アルプスアルパイン) ● トランジスタ用小型トランス開発(タムラ製作所) ● 8インチ・フルレンジスピーカ発売(パナソニック インダストリー) ● ラジオ用バーアンテナコイル製造開始(スミダコーポレーション)	※8,858百万円
1955年	昭和30年		● 国産トランジスタラジオ発売(ソニー) ● NHKテレビ受信契約10万突破	● NTCサーミスタ開発(北陸電気工業) ● トランジスタ対応アルミ電解コンデンサ発表(日本ケミコン) ● アキシャル型ゴム封口アルミ電解コンデンサ開発(パナソニック インダストリー) ● テレビ用Mn-Zn系フェライトコア開発(TDK)	※8,318百万円
1956年	昭和31年	● 国際連合に加盟	● カラーテレビ実験放送開始(NHK) ● カラーテレビ受像公開(NHK) ● テレビ、冷蔵庫、洗濯機(三種の神器)	● 小型カットコア国産化(タムラ製作所) ● 中性フラックス開発(タムラ製作所) ● 超小型IFT用円筒コンデンサとフェライトコア開発(太陽誘電) ● ミニチュアプラグ・ジャック商品化(ホシデン) ● 36m角IFT開発、生産開始(スミダコーポレーション)	※13,184百万円



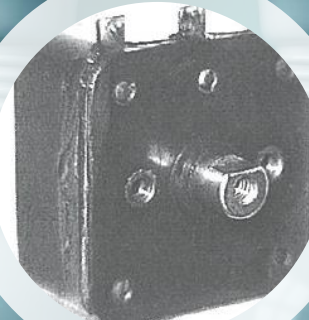
の時代 レビ・ラジオ・パーツ



テレビ・ラジオ・パーツショー

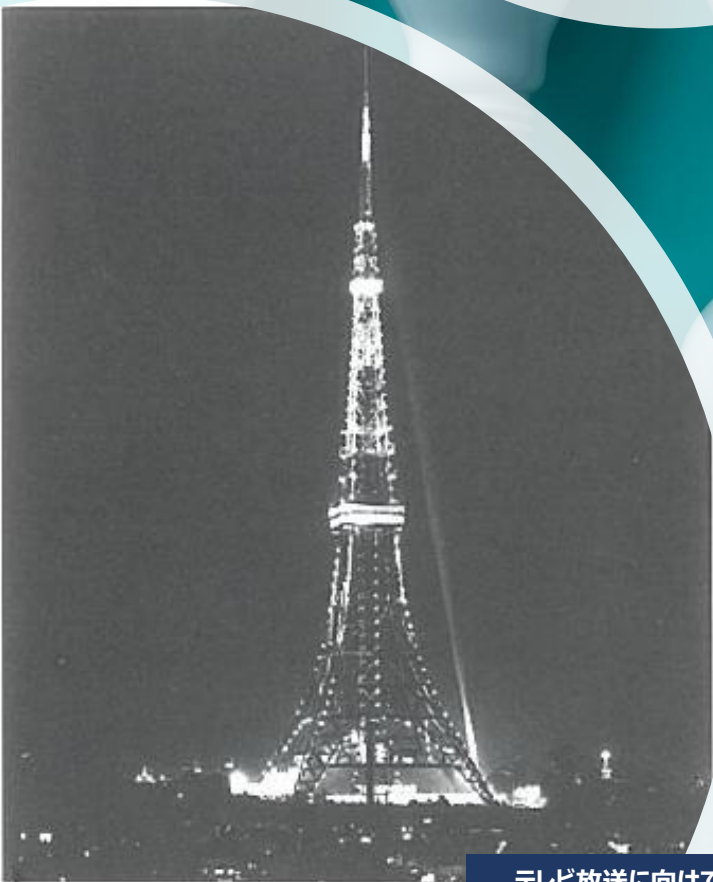


ホーロー抵抗器



ポリバリコン

1950年代
高度経済成長期に入り
情報源が白黒テレビに移行



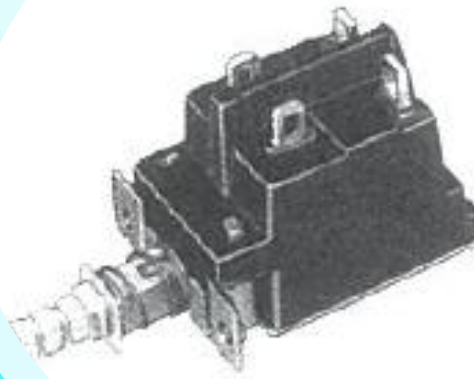
テレビ放送に向けて東京タワー竣工



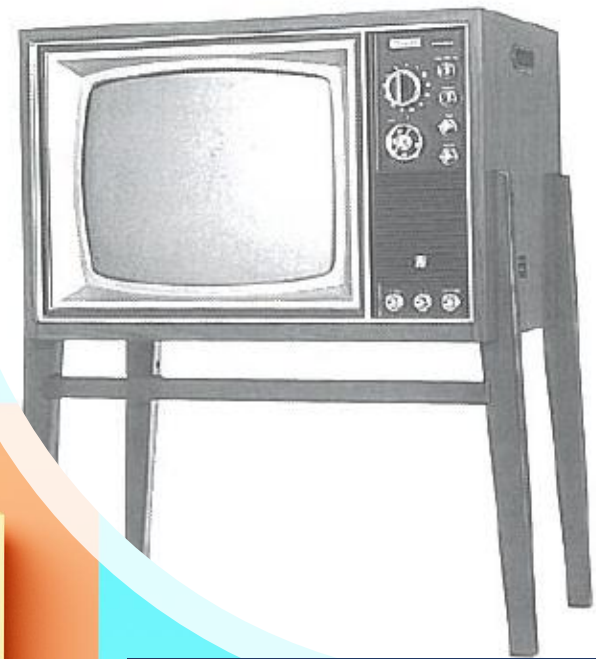
トランジスタ式8型テレビ
提供：NHK放送博物館

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1957年	昭和32年		● 国産カラーテレビ発表(東芝) ● 日本初パラメトロン計算機(NTT) ● ソ連が人工衛星スプートニク打ち上げ	● 東京コスモス電機 創業 ● MIL規格トランス製作(タムラ製作所) ● 高周波トランス発売(パナソニック インダストリー) ● コンピュータメモリ用コア開発(TDK) ● パラメトロン演算素子用コア開発(TDK) ● 核融合プラズマ実験用コンデンサ開発(ニチコン) ● ディップマイカコンデンサ開発(双信電機)	※16,208百万円 ● 日本生産性本部主催「電機通信機械工業専門視察団」 部品チーム12名、6週間にわたる米国視察団派遣（ゼネラルラジオ社、ケロッグ・スイッチボード&サプライ社、ウエスタンエレクトリック社、アルテック社、アメリカ労働省教育局、小企業庁、シカゴ・パーツショー） ● カラーテレビ調査会設置
1958年	昭和33年	● 東京タワー完成 ● 日本貿易振興会(JETRO)発足 ● ヨーロッパ経済共同体(EEC)発足	● 国産初トランジスタ電子計算機(NEC) ● ステレオレコード発売(日本ビクター) ● 国際VTR完成(ソニー) ● 東京タワーからテレビ電波の送信開始 ● NHKテレビ受信契約100万突破	● ワカ製作所(若林製作所 創業) ● SiCバリスタ開発・量産開始(北陸電気工業) ● フェライト磁石を採用した軽量・小型モーター開発(マブチモーター)	※19,190百万円 ● 無線通信機械工業会を電子機械工業会(EIAJ)に改称 ● 日本電子工業振興協会(JEIDA)設立 ● 部品運営委員会設置 ● 松本望 初代運営委員長(パイオニア) ● 第1回テレビ・ラジオ・パーツショー ● EIAJニューヨークPRセンター開設
1959年	昭和34年	● 皇太子殿下ご成婚 ● 伊勢湾台風	● 国産トランジスタ白黒テレビ発売(東芝/ソニー)	● 京セラ(京都セラミック 創業) ● ブラウン管電子銃用絶縁セラミック開発(京セラ) ● PTCサーミスタ(村田製作所) ● 抵抗器の自動化製造技術確立(北陸電気工業) ● 金属皮膜可変抵抗器開発(東京コスモス電機) ● 10m角IFT生産開始(スミダコーポレーション)	※36,662百万円 ● ニューヨークで初の海外展示会「エレクトロニクスショー」を開催 ● カラーテレビ調査会、中間報告としてNTSC方式を推薦

カラーテレビ用高圧抵抗器



プッシュ電源スイッチ



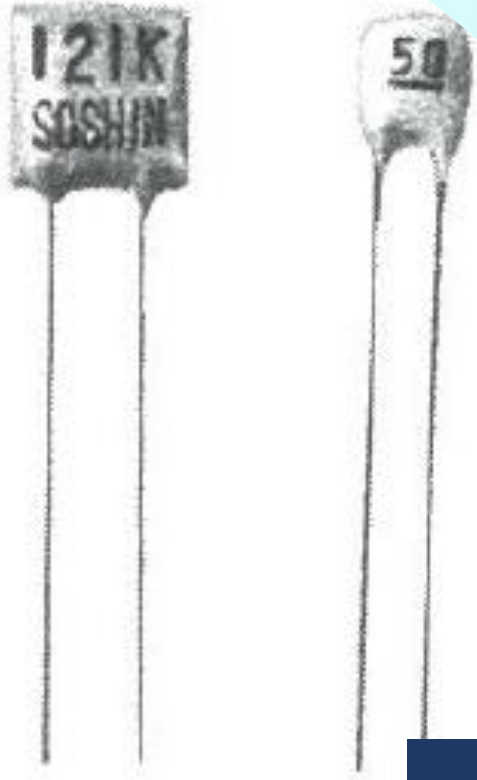
トランジスタ式カラーテレビ
提供：(株)日立製作所



第1回日本電子工業展

1960年代
家庭の中心にカラーテレビ
生活家電も普及

民生用マイカ・コンデンサ



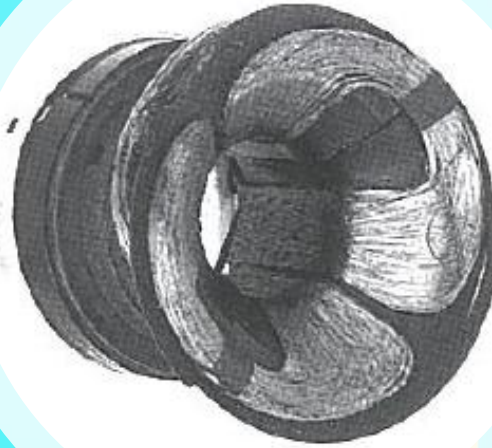
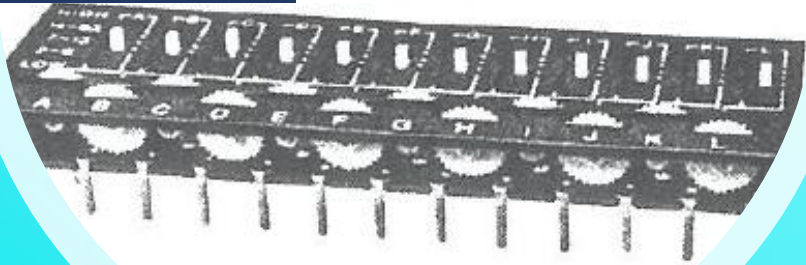
600号電話機
提供：日本電信電話(株)



1960年代 カラーテレビ時代：家庭の中心にカラーテレビ、生活家電も普及

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1960年	昭和35年	● 国民所得倍増計画	● カラーテレビ本放送開始 (NHK/日本テレビ/KRT/朝日放送/読売テレビ) ● NHKテレビ受信契約500万突破 ● 国産初カラーテレビ(東芝) ● カラーテレビカメラ国産化 (NEC)	● 世界初、無接点近接スイッチ開発(オムロン) ● 通信用高透磁率コア開発(TDK) ● 絶縁モールド型炭素皮膜抵抗器開発(北陸電気工業) ● 固定ソリッド抵抗器(G特性)開発(パナソニック インダストリー) ● 抵抗器用セラミックロッド開発(京セラ) ● カソードチューブ、カソードホルダ量産(京セラ)	※55,204百万円 ● 欧米視察団派遣
1961年	昭和36年	● OECD発足	● 国産初コアメモリ使用電子計算機(OKI)	● トランジスタ式小型VHFチューナ開発(パナソニック インダストリー) ● 炭素皮膜系半固定抵抗器発売(パナソニック インダストリー) ● セラミック抵抗器製品化(KOA) ● 酸化スズ系セラミック固定抵抗器開発(KOA) ● 連続交流用アルミ電解コンデンサ開発(ニチコン) ● セラミック抵抗器の開発(KOA)	※74,645百万円 ● エレクトロニック・パーツショー ● エレクトロニック・パーツカタログ発行 ● 月刊誌「電子」創刊
1962年	昭和37年	● キューバ危機	● 国産初大型電子計算機 (NEC) ● 国産初電子複写機(富士ゼロックス) ● 600形自動式卓上電話機「黒電話」(NTT) ● NHKテレビ受信契約1,000万突破	● 通信用セラミックフィルタ(村田製作所) ● セラミックトリマコンデンサ開発(パナソニック インダストリー) ● 炭素皮膜系固定抵抗器1/4W型発売(パナソニック インダストリー) ● 自動車用ストップランプスイッチ発売(パナソニック インダストリー)	※86,214百万円 ● 第1回電子工業展(後のエレクトロニクスショー) ● コンデンサ米国市場調査 ● 第1回「電子工業技術大会」開催

テレビチャンネル・プリセット用可変抵抗器



偏向ヨーク・コイル



テレビ用電源トランス



1966年エレクトロニクスショー

1960年代
家庭の中心にカラーテレビ
生活家電も普及

ポリスチレン・コンデンサ

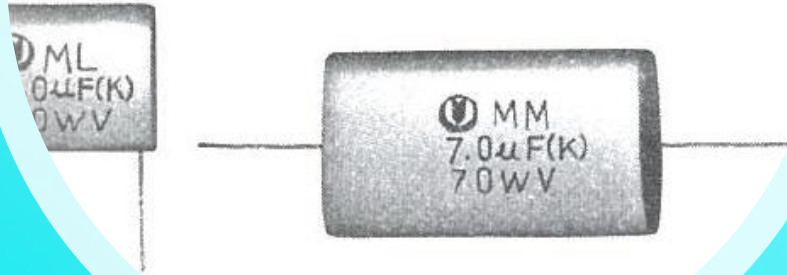


1965年エレクトロニクスショー



西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1963年	昭和38年	● ケネディ米大統領暗殺	● 日米テレビ宇宙中継実験成功	● 自動同調装置付ワイヤレスマイクロホン開発(タムラ製作所) ● UHFチューナ発売(アルプスアルパイン) ● 酸化金属皮膜固定抵抗器発売(帝国通信工業、北陸電気工業) ● トランジスタヘッダー開発(京セラ) ● 3成分系の圧電セラミック「PCM」開発(パナソニック インダストリー)	※91,939百万円 ● 部品部会、トランジスタ用IFTの標準化
1964年	昭和39年	● 東京オリンピック ● 東海道新幹線営業開始	● 世界初トランジスタ電卓(シャープ) ● 東京オリンピックを世界初テレビ衛星中継	● PTCセラミックサーミスタ量産化(村田製作所) ● サーミスタ水温系開発(パナソニック インダストリー) ● 大口径ダイナミックヘッドホン商品化(ホシデン) ● ソリッド抵抗器の製造・販売開始(KOA)	※115,774百万円 ● 電子工業展をエレクトロニクスショーに改称 ● 日仏部品業界懇談会 ● 欧州部品市場調査
1965年	昭和40年	● ベトナム戦争勃発	● クロマトロンカラーテレビ発売(ソニー) ● 日本スピーカー工業会発足 ● ムーアの法則発表(インテル)	● 電卓用キーボードスイッチ量産(アルプスアルパイン) ● 12chプリセットチューナ販売(アルプスアルパイン) ● サーディップパッケージ開発(京セラ) ● 金属蒸着被膜可変抵抗器量産(帝国通信工業) ● ホーン型ツイータ販売(パナソニック インダストリー) ● 7m角IFT生産開始(スミダコーポレーション)	※140,439百万円 ● エレクトロニクスショー大阪開催 ● デュッセルドルフ輸出会議 ● 東南アジア電子部品専門視察団
1966年	昭和41年	● 文化大革命	● 国産初カセットテープレコーダ(アイワ) ● カー、クーラー、カラーテレビ(3Cブーム)	● 貫通型コンデンサ発表(太陽誘電) ● アルミ電解コンデンサの完全自動生産ライン完成(日本ケミコン) ● メタルグレース半固定抵抗器(帝国通信工業) ● ラジアル形フィルムコンデンサ生産開始(パナソニック インダストリー) ● 酸化金属皮膜抵抗器の開発(KOA)	※183,943百万円 ● 伸び行く電波展にEIAJとして名義参加 ● パリ国際電子部品展視察団

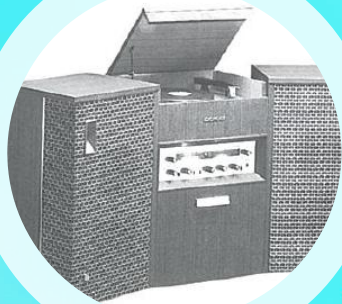
ラッカ・フィルム・コンデンサ



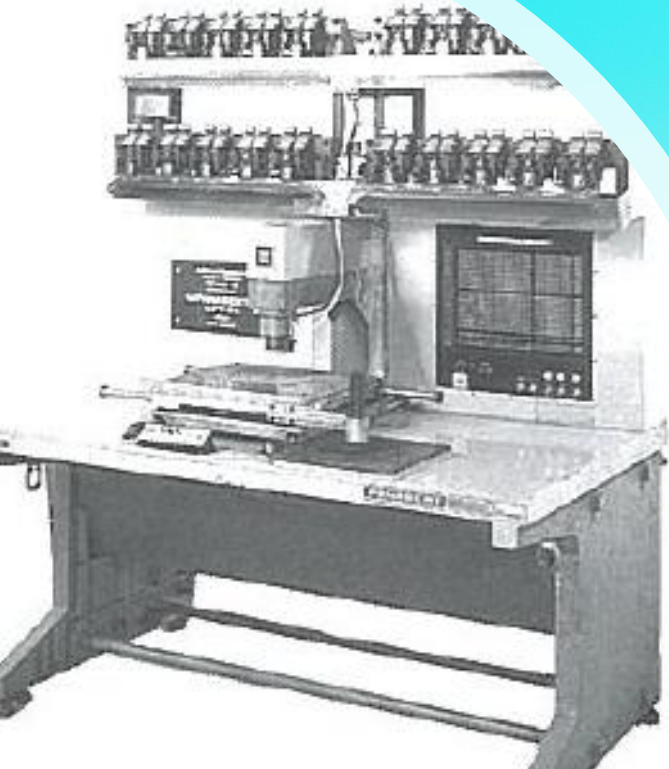
タッチトーン電話機
提供：日本電信電話(株)



オープン・リール型VTR
提供：NHK放送博物館



セパレート・ステレオ
提供：パイオニア(株)



国産初の電子部品自動挿入機
提供：松下電器産業(株)

1960年代
家庭の中心にカラーテレビ
生活家電も普及



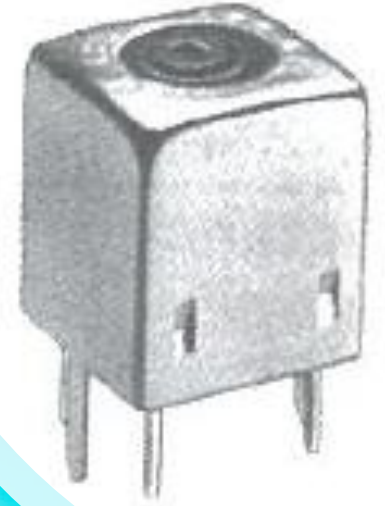
1967年エレクトロニクスショー

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1967年	昭和42年	● ヨーロッパ共同体 (EC)成立	● 世界初IC搭載ラジオ(ソニー) ● 世界初IC電卓(シャープ) ● 電子チューナー採用テレビ(パナソニック) ● 国産初ラジカセ(パナソニック) ● NHKテレビ受信契約2,000万突破 ● 日本情報処理センター設立	● 印刷抵抗回路開発(北陸電気工業) ● スライド型可変抵抗器シリーズ発売(パナソニック インダストリー) ● ボックス型ジャック商品化(ホシデン) ● 金属被膜抵抗器の開発(KOA)	※216,048百万円 ● カラーテレビショー開催 ● 第1回放送機器展示会 ● 日韓電子工業視察団交換
1968年	昭和43年	● 小笠原諸島復帰	● ラジオ受信料撤廃(NHK) ● ポケットベルサービス、データ通信サービス開始(NTT)	● 酸化亜鉛バリスタ開発(パナソニック インダストリー) ● 圧膜ハイブリッドIC商品化(太陽誘電)	※272,552百万円 ● 「EIAJ規格」制定 ● 「これからの電子部品にかける夢」の標題で論文募集 ● 東南アジア電子部品視察団派遣
1969年	昭和44年	● アポロ11号月面 着陸	● FMラジオ放送開始 ● プッシュホンサービス開始(NTT) ● 日本初キャッシュディスプレイ登場(オムロン) ● 世界初LSI電卓(シャープ) ● テレビ音声多重放送実験開始(NHK)	● コーセル(エルコー 設立) ● スパッタリング・タンタル薄膜抵抗器開発(北陸電気工業) ● 厚膜ハイブリッドIC開発(北陸電気工業) ● 電子同調チューナ発売(パナソニック インダストリー) ● モールドタイプジャック発売(SMK) ● 放電ギャップ付きCRTソケット商品化(ホシデン)	※400,517百万円 ● 日仏電子民間協定締結 ● VTRの規格統一 ● 電子部品中南米産業視察団派遣

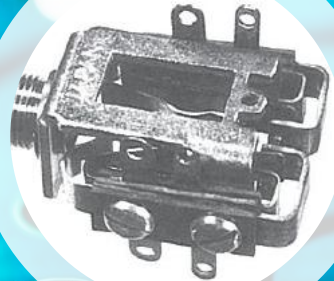
1970年エレクトロニクスショー



カセット式カーラジオ(国産第1号)
提供：クラリオン(株)



10mm角コイル

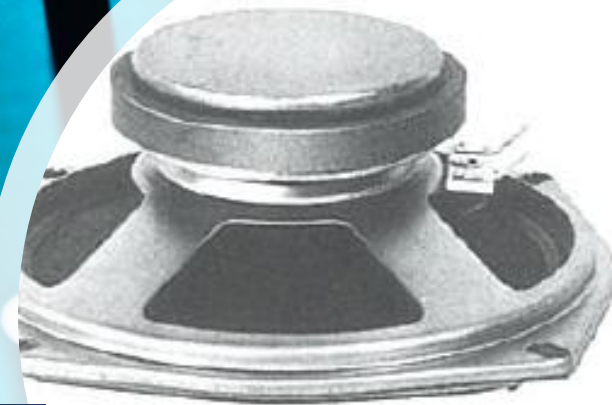


3極大形ジャック



ポケベル
提供：日本電信電話(株)

1970年代
メディアの視聴体験とライフスタイルが
大きく変化



カー用スピーカ

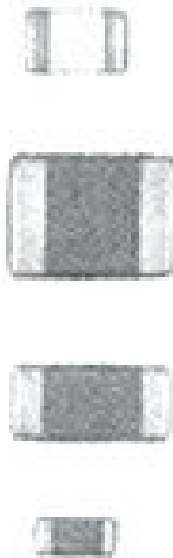
1970年代 オーディオ&ビジュアル時代：メディアの視聴体験とライフスタイルが大きく変化

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1970年	昭和45年	● 大阪万博開催	● 東京・大阪UHF実験局開局 ● UNIX開発(AT&Tベル研究所)	● 積層セラミックコンデンサ開発(村田製作所) ● SN型金属皮膜抵抗器開発(KOA) ● テレビ用ディレーライン発売(パナソニック インダストリー) ● セラミック多層パッケージ基板量産(京セラ) ● エレクトレットコンデンサマイクロホン商品化、PET振動板のマイクロスピーカ商品化、自己保存型ソレノイド開発(ホシデン) ● ネットワーク抵抗器の製造開始(KOA) ● FMステレオMPX用コイルブロック商品化(スミダコーポレーション) ● 電卓用小型DDコントランス開発(スミダコーポレーション)	※471,953百万円
1971年	昭和46年	● ドルショック	● 国産電子制御エンジン搭載車(いすゞ自動車117クーペ) ● NHKカラー受信契約1,000万突破	● チップマイカコンデンサ発売(双信電機) ● 映像用LCフィルタ開発(双信電機) ● 樹脂モールド型タンタル固体電解コンデンサ開発(パナソニック インダストリー) ● 多桁表示管用セラミック基板商品化(京セラ) ● 皮膜抵抗器用アルミナ磁器開発(KOA) ● メタルグレース被膜抵抗器の開発(KOA) ● 防爆弁付き小型アルミ電解コンデンサ発売(ニチコン) ● バイメタル利用のサーキットプロテクタ開発(ホシデン) ● クリップ端子式ボタン用コネクタを電電公社へ納入(本多通信工業)	※471,452百万円 ● 第1回東南アジア地域電子部品工業調査団派遣 ● 第6回日仏高信頼性電子部品シンポジウム、東京で開催
1972年	昭和47年	● 沖縄返還(沖縄本土復帰) ● 札幌冬季オリンピック	● 電波周波数表示をサイクルからヘルツに変更 ● 日本電気専門大型店協会(NEBA)設立	● 電源トランス(タムラ製作所) ● エラスティックタイプキーボードスイッチ生産(アルプスアルパイン) ● カラーCRT高電圧回路用の可変抵抗器開発(北陸電気工業) ● 電気・電子機器内部実装用コネクタ開発(日本航空電子工業) ● メンブレンスイッチ発売(SMK) ● チタン酸ストロンチウム系高圧磁器コンデンサ実用化(太陽誘電) ● 世界初、二次電子倍増管(村田製作所) ● EMIフィルタ開発(双信電機) ● オーディオ用プリアンプIC開発、量産(ローム)	※567,700百万円 ● 電子部品、材料を中心に「電子工業の将来動向調査」 ● 韓国電子工業視察団、台湾電子工業視察団との懇談会(東京)

ファクシミリ
提供：日本電信電話(株)



ベータマックス型VTR
提供：ソニー(株)



角型積層チップ磁器コンデンサ



液晶タイプの電卓
提供：シャープ(株)

1970年代 メディアの視聴体験とライフスタイルが 大きく変化



電子ガバナ・モータ



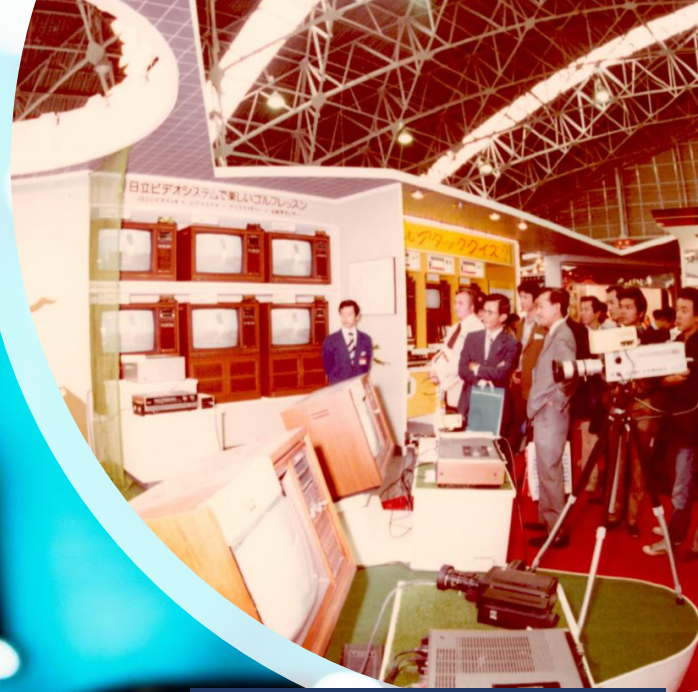
VHS型VTR
提供：日本ビクター(株)

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1973年	昭和48年	● 第一次石油危機	● 世界初液晶電卓(シャープ) ● ファックスサービス開始(NTT)	● NASDA規格トランス開発(タムラ製作所) ● 電子部品をテーピング梱包して出荷(TDK) ● 電子チューナ用プリセットトリマ発売(パナソニック インダストリー) ● 自動車用コンビネーションスイッチ開発(パナソニック インダストリー) ● スパークギャップ付CRTソケット発売(SMK)	※747,585百万円 ● 電子部品、電子材料を中心とした産業構造調査開始 ● 第1回データショウ開催
1974年	昭和49年		● エネルギー危機に伴い、石油・電力の使用節減、製品値上げの自粛等、一連の緊急事態、業界に波及 ● 世界初のパーソナルコンピュータ「Altair 8800」発売(MITS) ● ICの完全自由化	● CATVホームコンバータ製造(アルプスアルパイン) ● セラミックアルミナヒータ生産(京セラ) ● SrTiO3系BL構造半導体磁器コンデンサ発売(太陽誘電) ● セラミックリングバリスタ開発(太陽誘電) ● 電子回路付鍵スイッチ発売(SMK) ● 薄膜EL(Electro-Luminescence)素子開発(シャープ) ● 円筒型チップ抵抗器の開発(KOA) ● ドルビーフィルターブロック商品化(スミダコーポレーション) ● 基盤落とし込みタイプコンバータコイル商品化(スミダコーポレーション)	※748,333百万円 ● 社団法人日本電子機械工業会(EIAJ)設立 ● エレクトロニカ（ミュンヘン）参加 ● 第1回日独電子部品会談、東京で開催
1975年	昭和50年	● 山陽新幹線博多開業	● ベータ方式家庭用カラーVTR発売(ソニー) ● NHKテレビ受信契約2,000万突破	● 世界初、民生用弾性表面波(SAW)フィルタ(村田製作所) ● Vz型半固定抵抗器開発(北陸電気工業) ● CRT用回路ブロック発売(北陸電気工業) ● 音響・映像機器用モーター発売(マブチモーター) ● 自動車電装ミラー用モーターを発売(マブチモーター)	※652,371百万円 ● 定例理事会で電子部品の標準化を強力に推進することを決定 ● ニューヨーク事務所設置
1976年	昭和51年	● ロッキード事件	● VHS方式家庭用カラーVTR発売(ビクター) ● 太陽電池電卓(シャープ)	● アキシャルリード型セラミックコンデンサ商品化(太陽誘電) ● セラミック発振子(村田製作所) ● 2.5mmピッチの民生機器用内部実装コネクタ発売(日本航空電子工業) ● タクトスイッチ商品化(アルプスアルパイン) ● オーディオ用アルミ電解コンデンサ生産(ニチコン) ● 世界初、角型チップ抵抗器開発、販売(ローム) ● 円筒型チップ抵抗器開発(KOA)	※988,267百万円 ● 台湾電子工業視察団との会談

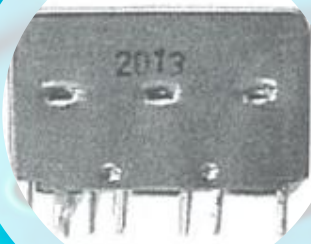
CRTソケット



大容量電源スイッチ



1977年エレクトロニクスショー



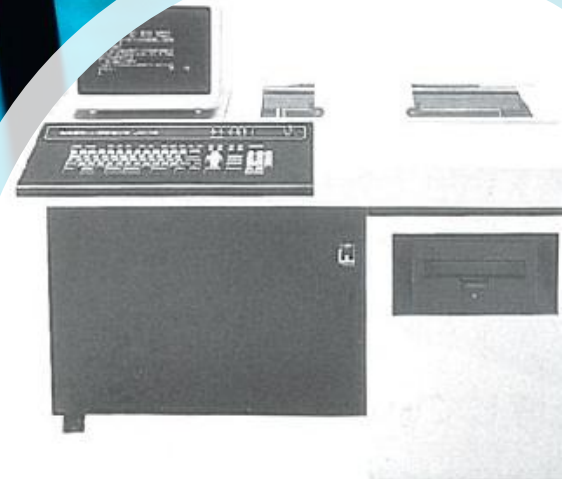
7mm角LCフィルタ

1970年代 メディアの視聴体験とライフスタイルが 大きく変化

ウォークマン1号機
提供：ソニー(株)



初期の日本語ワープロ
提供：(株)東芝

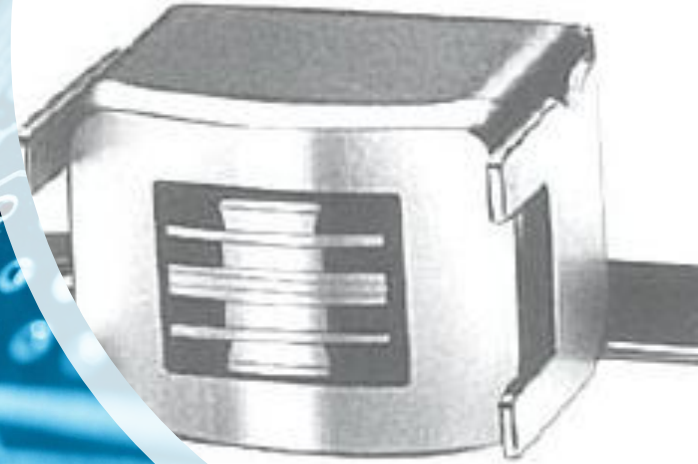


西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1977年	昭和52年	● 文化大革命終結	● パーソナルコンピュータ Apple II 発売(Apple)	● 世界初、超小型マイクロプリンタ発売(アルプスアルパイン) ● 世界初、円筒チップ型磁器コンデンサ(太陽誘電) ● アキシャルリード型コイル商品化(太陽誘電) ● 民生用積層セラミックチップコンデンサ開発(TDK) ● 誘電体同軸共振器フィルタ製品化(村田製作所) ● 小型密封型トランス販売 (パナソニック インダストリー) ● 赤外線リモコン送信機発売(SMK)	※986,458百万円 ● 第1回日仏電子部品業界会談、東京で開催 ● 第1回マイクロコンピュータショウ開催
1978年	昭和53年	● 新東京国際空港 (成田空港) 開港 ● 日中平和友好条約	● 世界初日本語ワープロ発売 (東芝)	● 圧電薄膜「ZnO VIF SAWフィルタ」発売(村田製作所) ● 厚膜技術による電子同調チューナ開発(アルプスアルパイン) ● 導電性プラスチック抵抗体素子開発。U/V一体型電子同調チューナ開発。角型チップ抵抗器量産。電気2重層コンデンサ量産(パナソニック インダストリー) ● 円筒型チップセラミックコンデンサ商品化(太陽誘電) ● フラットパネルスイッチ販売(日本航空電子工業) ● テレビ選局用スイッチ販売(SMK) ● 「ライトタッチスイッチ」生産開始(パナソニック インダストリー)	※1,025,019百万円 ● 電子部品業界の健全な発展を図るための体制を整える一環として部品部を設置 ● 日本電子部品工業友好訪中団 ● 第1回EIAJ欧州部品・セットメーカー合同会議
1979年	昭和54年	● 第二次石油危機	● パーソナルコンピューター発売 (NEC) ● ウォークマン発売(ソニー) ● 白黒CCDカメラ商品化(パナソニック) ● 自動車電話サービス開始 (NTT)	● カラー液晶表示素子開発。高S/Nのビデオカメラ用マイクロホン商品化。長寿命エレクトレットコンデンサマイク開発(ホシデン) ● デジタルノイズ対策部品発表(村田製作所) ● セラミックコンデンサ ニッケル電極化(村田製作所) ● 平板型スピーカ商品化(パナソニック インダストリー) ● FAX用サーマルプリントヘッド(京セラ) ● 宇宙・軍用の高信頼度金属皮膜抵抗器開発(北陸電気工業) ● パソコン用キーボード発売(SMK)	※1,139,468百万円 ● 片岡勝太郎 運営委員長(アルプス電気) ● インド電子部品工業視察団 ● 電子産業議員懇談会発足 ● 中国問題懇談会設置

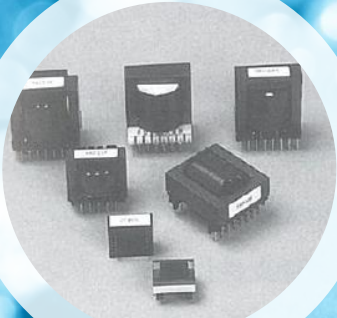
CDプレイヤー1号機
提供：ソニー(株)



1982年エレクトロニクスショー



オートリバース用録音再生磁気ヘッド

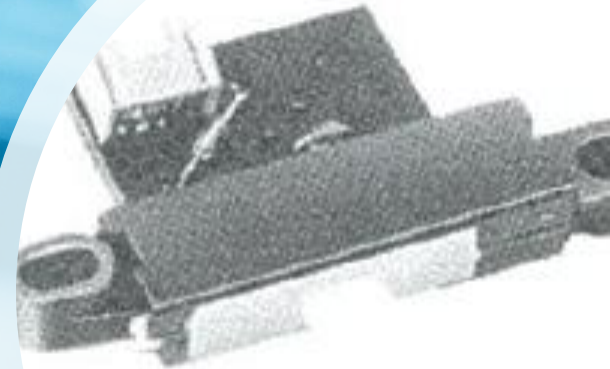


スイッチング電源用トランス

1980年代 エンターテインメントと コミュニケーションの多様化



デスクトップパソコン
提供：日本電気(株)

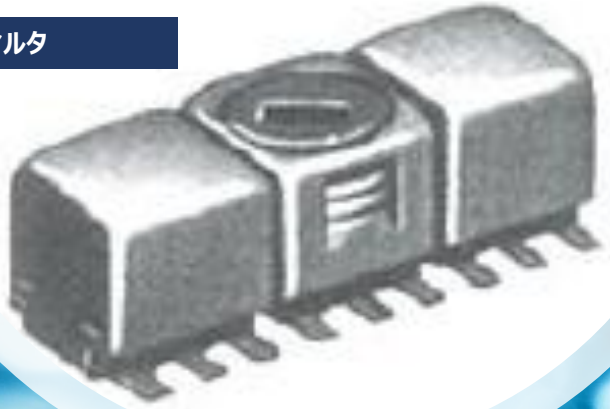


スライド式モード切替スイッチ

1980年代 ニューメディア時代：エンターテインメントとコミュニケーションの多様化

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1980年	昭和55年	● イラン・イラク戦争勃発	● フラッシュメモリ発明(東芝)	● 旭化成エレクトロニクス(宮崎電子 設立) ● 世界初、積層チップインダクタ開発 (TDK) ● ドライバIC内蔵サーマルヘッド開発(ローム)	※1,413,696百万円 ● 総合電子部品ハンドブック発行 ● 中国電子工業友好訪日団との懇談 ● 日本電子工業友好訪中団を派遣
1981年	昭和56年	● スペースシャトル打上げ成功	● 世界初家庭用インバータエアコン開発(東芝) ● 世界初カーナビ搭載自動車(ホンダ) ● 電子スチルカメラ試作(ソニー)	● 自動車エンジン用セラミックグローブプラグ発売(京セラ) ● UVミキサ(ANTミキサ)発売(SMK) ● 容量性バリスタ商品化(太陽誘電) ● 自動車用メーター表示機にLEDが採用(ローム) ● 完全密封型 6mmサイズ 半固定抵抗器量産(東京コスモス電機) ● 世界初のカーナビ「ジャイロケータ」共同開発(アルプスアルパイン) ● 角型チップ抵抗器の開発(KOA) ● 業界初パワーインダクタ開発、商品化(スミダコーポレーション)	※1,732,350百万円 ● 電子ディスプレイデバイス展
1982年	昭和57年	● 東北、上越新幹線営業開始	● CDプレイヤー発売(ソニー) ● 16ビットパーソナルコンピューター発売(NEC) ● 磁気カード式公衆電話(NTT) ● テレビ音声多重放送開始(NHK、民放)	● 抵抗内蔵型トランジスタ開発。リードレスチップ型ダイオード開発(ローム) ● 誘電体フィルタ開発(パナソニック インダストリー) ● 電子同調用ポリウムユニット開発(アルプスアルパイン) ● 樹脂外装チップ型タンタル電解コンデンサ開発(ニチコン) ● チップ抵抗器発売(北陸電気工業) ● 高さ5mmのアルミ電解コンデンサ発表(日本ケミコン) ● チップ形アルミ電解コンデンサ発表(日本ケミコン) ● 多結晶Si太陽電池開発(京セラ) ● 130mm角の大型TFT液晶ディスプレイ開発。MINI-DINコネクタ商品化。難聴者用レシバーユニット開発(ホシデン) ● プリンター用ハンマーコイル開発、商品化(スミダコーポレーション)	※1,842,332百万円 ● 第1回日英部品業界懇談会 ● 中国電子部品工業視察団を派遣 ● 第1回米国部品駐在員会議 ● 電子部品産業の中期ビジョン策定に関する調査報告書 ● 電子デバイス部会設置

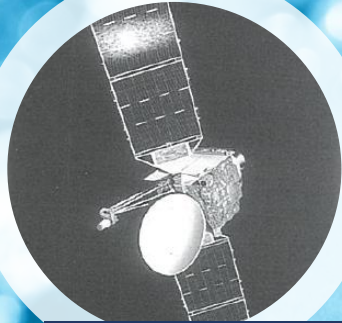
4mm角LCフィルタ



保安装置付コンデンサ（電気機器用）



ラップトップ・パソコン
提供：(株)東芝



放送衛星 BS-2a
提供：日本放送協会

1980年代 エンターテインメントと コミュニケーションの多様化



行啓された皇太子殿下(当時)
1984年エレクトロニクスショー



テレビゲーム
提供：任天堂(株)

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1983年	昭和58年	● 東京ディズニーランド開業	● 家庭用コンピューターゲーム機発売(任天堂) ● 家庭用カムコーダー発売(ソニー)	● チップネットワーク固定抵抗器商品化。発光ダイオード式Hi-Fi VTR用レベルメータ開発(ローム) ● CDプレーヤー用スピンドルモーター発売(マブチモーター) ● マウス用の新しい情報入力ユニット トラックボール発表(アルプスアルパイン)	※2,175,130百万円 ● EIA(米国電子協会)代表訪日とEIAJとの相互交流が成立 ● 仏電子部品業界と会談(東京) ● 日中電子部品工業懇談会
1984年	昭和59年		● 世界初液晶カラーテレビ発売(セイコーエプソン) ● 第二電電(DDI)発足 ● NOR型フラッシュメモリ発明(東芝) ● 衛星試験放送開始(NHK) ● 初代Macintosh発売(アップル)	● 世界初、ニッケル電極大容量積層セラミックコンデンサ(太陽誘電) ● アモーフスSi感光ドラム生産。光ファイバ接続用部品商品化(京セラ) ● アモーフスSi系太陽電池開発(太陽誘電) ● MBE法による半導体レーザの工業的な実用化に世界で初めて成功(ローム) ● 強磁性薄膜抵抗素子開発。複合ブロック回路商品化(帝国通信工業) ● 面状PTC発熱体生産開始(東京コスモス電機) ● VTR用SMD4m角コイル商品化(スミダコーポレーション)	※2,718,018百万円 ● 第3回EIAJ/EECA(欧州電子部品工業連盟)会談、東京で開催 ● エレクトロニック・パーツガイド発行
1985年	昭和60年	● プラザ合意 ● 日航ジャンボ機御巣鷹山墜落	● 日本電信電話公社が民営化しNTTへ ● 世界初ラップトップパソコン発売(東芝) ● テレビ文字多重放送開始(NHK、民放) ● 日米半導体通商協議開始 ● 第1回世界半導体市場統計(WSTS)開催	● ノートパソコンの出現に伴い、スイッチング方式の外付け電源アダプタが誕生(タムラ製作所) ● Ni電極(卑金属)大容量積層コンデンサ開発(太陽誘電) ● レンズ付き表面実装用発光ダイオード発売(ローム) ● FEM(数値解析)技術を電子部品に適用(SMK)	※2,774,822百万円 ● 大歳寛 運営委員長(TDK) ● フランス電子部品工業会ミッションと懇談(東京) ● 日本電子部品工業訪中団派遣 ● カーエレクトロニクス化の進展に伴う電子部品の動向調査
1986年	昭和61年	● チェルノブイリ原発事故 ● バブル景気	● 4MビットDRAM(日米) ● 第一次日米半導体協定締結	● メモリカード用コネクタ開発(日本航空電子工業) ● スwitching電源用アルミ電解コンデンサ発売(ニチコン) ● 小型空中超音波センサ(村田製作所) ● 小型焦電型赤外線センサ(村田製作所)	※2,764,607百万円 ● 世界コンデンサ統計日米欧チェアマン会議

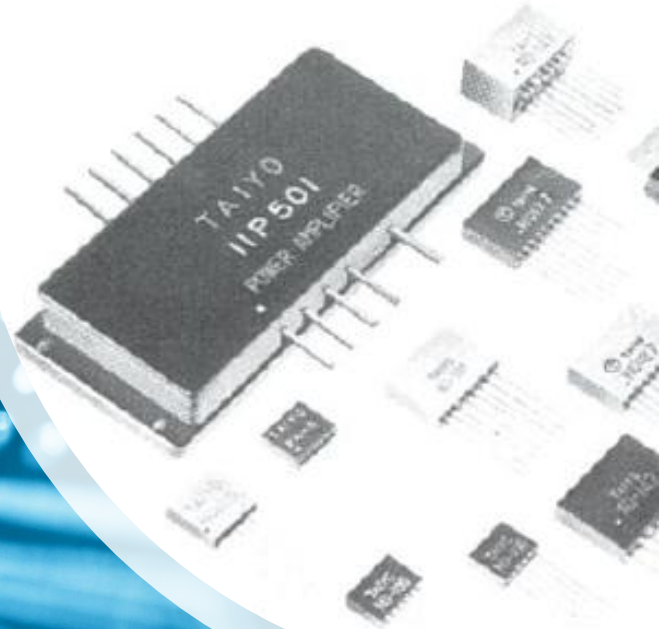
1989年エレクトロニクスショー



チップ可変抵抗器



ハイブリッドIC



ハイビジョン撮影風景
提供：日本放送協会



1980年代 エンターテインメントと コミュニケーションの多様化

初期の自動車電話
提供：日本電信電話(株)



カメラ一体型VTR
提供：ソニー(株)

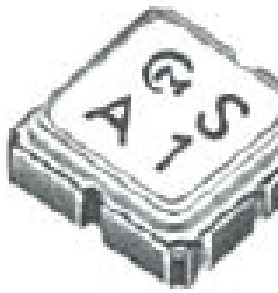


西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1987年	昭和62年	● JR発足	● 携帯電話サービス開始(NTT) ● NAND型フラッシュメモリ発明(東芝) ● BS放送開始(NHK) ● 日米半導体通商協議開催	● チップ抵抗器[1608サイズ] ● HDD用MIGヘッド開発。電波式リモートキーレス鍵量産(アルプス アルパイン) ● 0.5mm厚のチップタンタル電解コンデンサ開発(ニチコン) ● 端子付きジャンパシート商品化(帝国通信工業) ● 航空機用TFT液晶ディスプレイ商品化。計測用エレクトレットコンデンサマイク開発(ホシデン) ● 超電導磁気抵抗素子開発(シャープ) ● フェライトビーズ SMD化(村田製作所) ● ファジィチップ開発(オムロン) ● 民生機器用9mm型 可変抵抗器販売(東京コスモス電機) ● 抵抗式湿度センサ(北陸電気工業) ● LCDバックライト用インバータトランス商品化(スミダコーポレーション)	※2,857,801百万円 ● 韓国訪日部品開発協力団 ● 日本電子部品工業訪米視察団 ● 第1回世界コンデンサ統計チェアマン会議 ● コンデンサ研究会40周年、抵抗器30周年記念行事 ● スイッチング電源懇談会発足 ● 小形モータ技術懇談会設立
1988年	昭和63年	● 青函トンネル開通(開業) ● 瀬戸大橋開通	● 14型TFTカラー液晶(シャープ) ● ISDNスタート ● 外国系半導体ユーザ協議会、外国系半導体商社協会設立	● 世界初、追記型光記録メディア「CD-R」(太陽誘電) ● 14型TFTカラーLCD開発(シャープ) ● 積層セラミックハイブリッドIC開発(TDK) ● 500WV/550WVアルミ電解コンデンサ発売(日本ケミコン) ● 音響管式ドームスピーカ発売(パナソニック インダストリー) ● EMI除去フィルタSMD化(村田製作所) ● 表面実装型 4mmサイズ 半固定抵抗器量産(東京コスモス電機)	※3,035,916百万円 ● 第3回日米半導体業界会談、東京で開催 ● 取引体系研究会設置 ● 日本電子部品工業訪欧ミッション視察団 ● 電子部品の需要構造と日本の位置付け、1990年展望のまとめ ● インド電子部品工業訪日団との懇談会 ● EDI推進センター発足
1989年	平成元年	● 昭和天皇崩御 ● 消費税導入 ● ベルリンの壁崩壊 ● 天安門事件	● ハイビジョン実験放送開始(NHK) ● 4MビットSRAM(ソニー)	● 世界最小トランジスタ開発。1005チップ型抵抗器発売(ローム) ● 105℃、5000時間のチップアルミ電解コンデンサ開発(ニチコン) ● フィルムベースの可変抵抗器開発(帝国通信工業) ● 大型TFT-LCD基板の製造技術確立(ホシデン) ● チップフェライトビーズ[2012サイズ](村田製作所)	※3,067,473百万円 ● 村田昭 運営委員会(村田製作所) ● EIA/EIAJ部品業界会談 ● スイッチング電源、高周波部品、コイル(海外チップ)の自主統計開始 ● デジタル化時代に対応する部品の動向調査 ● 日米欧半導体ラウンドテーブルに参加

1990年エレクトロニクスショー



1991年エレクトロニクスショー



RF用チップ表面波フィルタ



ポータブルMDレコーダー
提供：ソニー(株)

1990年代 パーソナルメディアのPCと 携帯電話が普及



内部実装用コネクタ

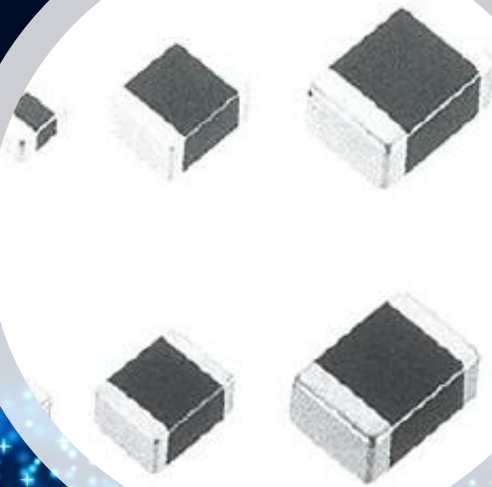


1992年エレクトロニクスショー
特別公演「国際市場における部品企業の役割」

1990年代 マルチメディア時代：パーソナルメディアのPCと携帯電話が普及

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1990年	平成2年	● 東西ドイツ統一	● インターネットサービス開始 ● スーパーファミコン発売(任天堂) ● 世界初市販型GPSカーナビ発売(アルプスアルパイン) ● ハイビジョンテレビ(ソニー)	● 2端子小型ミニモールドダイオード開発(ローム) ● 15インチ高精細TFTカラーLCD商品化(ホシデン) ● 高周波同軸コネクタ SMD化(村田製作所) ● 携帯電話用アイソレータ SMD化(村田製作所) ● 導電性高分子を用いたアルミ電解コンデンサ商品化(パナソニック インダストリー) ● 面実装パワーインダクタ商品化(スミダコーポレーション)	※3,478,550百万円 ● 第4回世界コンデンサ統計チェアマン会議(京都) ● 日本電子部品工業訪米ミッション視察団 ● 製品区分表を作成し、日本標準産業分類改正の基礎資料に ● 電子部品将来展開推進会議を設置 ● パーツカタログ30周年行事 ● オゾン層保護の今後の施策PR
1991年	平成3年	● 湾岸戦争 ● ソ連崩壊	● 世界初TFTカラー液晶ノートパソコン発売(NEC) ● NAND型フラッシュメモリ発売(東芝) ● NTTドコモ設立：携帯電話機「MOVA」発売 ● ハイビジョン試験放送開始(NHK) ● 第二次日米半導体協定締結	● フィルムインダクタ(村田製作所) ● 圧電振動ジャイロ(村田製作所) ● チップ型高分子アルミ電解コンデンサ(パナソニック インダストリー) ● 航空機コックピット用LCD商品化(ホシデン) ● 低温焼成多層基板開発(京セラ) ● 抵抗感圧式タブレット開発(SMK)	※3,630,221百万円 ● 第1回世界抵抗器統計チェアマン会議 ● 部品運営委員会「部品企業の将来展開」報告書を作成 ● 消費税研究会開催 ● 部品統計研究会発足 ● 取引関係指針研究会 ● 「スイッチング電源の現状と動向」発刊
1992年	平成4年	● サッカーリーグ公式戦開幕	● 16MビットSRAM(NEC、富士通) ● ポータブルMDレコーダー発売(ソニー)	● 表面実装型 3mmサイズ 半固定抵抗器量産(東京コスモス電機) ● 半導体圧力センサ(北陸電気工業)	※3,154,834百万円 ● 国際関係研究会設置 ● 電子業界のEDI標準化の推進 ● 欧州電子部品産業育成支援に関わる産業協力を実施

カーナビゲーション・システム
提供：アルパイン(株)



角型積層チップ磁器コンデンサ



1993年エレクトロニクスショー



1994年エレクトロニクスショー

1990年代 パーソナルメディアのPCと 携帯電話が普及



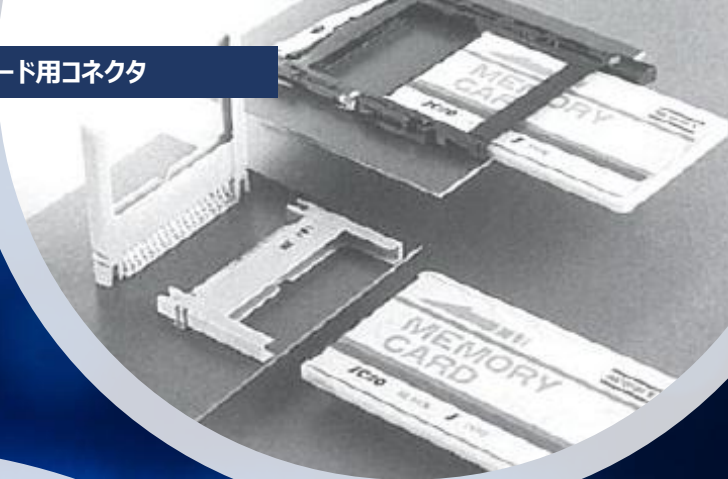
PHS
提供：日本電信電話(株)



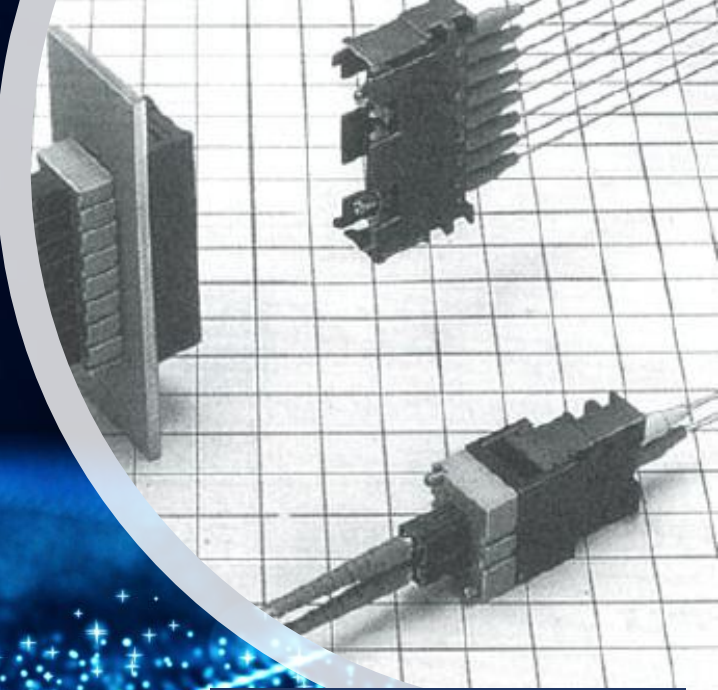
薄膜磁気ヘッド・ワイヤレス HGA

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1993年	平成5年	● ヨーロッパ連合 (EU)発足	● Windows3.1日本語版発売(マイクロソフト) ● 世界初プラズマディスプレイ発売(富士通) ● GaN青色発光ダイオード実用化(日亜化学)	● 薄膜型擬似端面方式サーマルヘッド開発。高速サーマルプリントヘッド商品化(ローム) ● 積層誘電体フィルタ開発(双信電機) ● ジョグシャトルスイッチ商品化(ホシデン)	※2,976,419百万円 ● 中村正夫 運営委員長(北陸電気工業) ● 第3回世界抵抗器統計チェアマン会議(東京) ● 取引関係研究会：国際化における商慣行取引実施マニュアル ● PL法に関する通産省との連絡会
1994年	平成6年	● 関西国際空港開港 ● PL法成立	● 携帯電話・端末自由化 ● ハイビジョン放送開始(NHK) ● PlayStation発売(ソニー)	● 圧電トランス(タムラ製作所) ● VCO/PLLモジュール発売(パナソニック インダストリー) ● 不揮発性メモリ(強誘電体メモリ)開発。小型のAC/DCコンバータ発表(ローム) ● 高周波積層型チップインダクタ開発(太陽誘電) ● 軟X線反射ミラー用多層膜形成技術開発(日本航空電子工業) ● 世界初、フリップロック FFC/FPCコネクタ開発(ヒロセ電機) ● グラインドポイント™発表(アルプスアルパイン)	※2,861,573百万円 ● 欧州部品産業研修ミッション受け入れ ● 仏電子部品工業会会長との懇談会 ● 中国・青島経済技術開発区を訪日ミッション ● 取引関係研究会：電子部品企業の国際取引における価格体系及び海外投資資金回収の現状と課題 ● 半導体産業研究所設立 ● 日本マルチメディアフォーラム設立
1995年	平成7年	● 阪神大震災 ● 地下鉄サリン事件	● Windows95日本語版発売(マイクロソフト) ● 1GビットDRAM(日立製作所、NEC) ● 液晶画面付きデジタルカメラ(カシオ) ● PHSサービス開始	● チップ積層セラミックコンデンサ[0603サイズ](村田製作所) ● 世界初、光通信用ビーム整形レンズ(アルプスアルパイン) ● 空間光伝送用LSI開発(SMK) ● インバータエアコン用アルミ電解コンデンサ開発(ニチコン) ● 極超薄タテ型チップアルミ電解コンデンサ開発(ニチコン) ● 凸電極積層磁器チップコンデンサネットワーク(ローム) ● 顔画像センシング技術「OKAO®Vision」を開発(オムロン) ● 面実装型の水晶発振器を量産。半導体製造装置用窒化アルミ製静電チャック量産化(京セラ)	※3,030,191百万円 ● 欧州部品産業研修ミッション受け入れ ● 部品技術委員会発足 ● 電子部品安全ガイドライン作成 ● 部品PL実装マニュアル作成 ● 阪神大震災被災地への救援活動(テレビ・ラジオ・アンテナ設置、相談センター開設等)

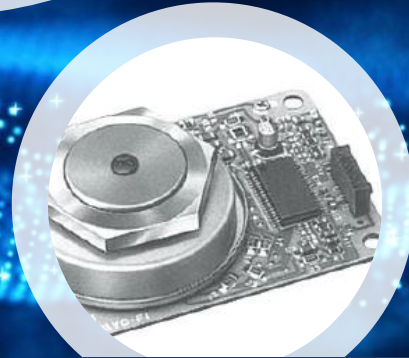
PCカード用コネクタ



1999年エレクトロニクスショー



プラグイン多芯コネクタ



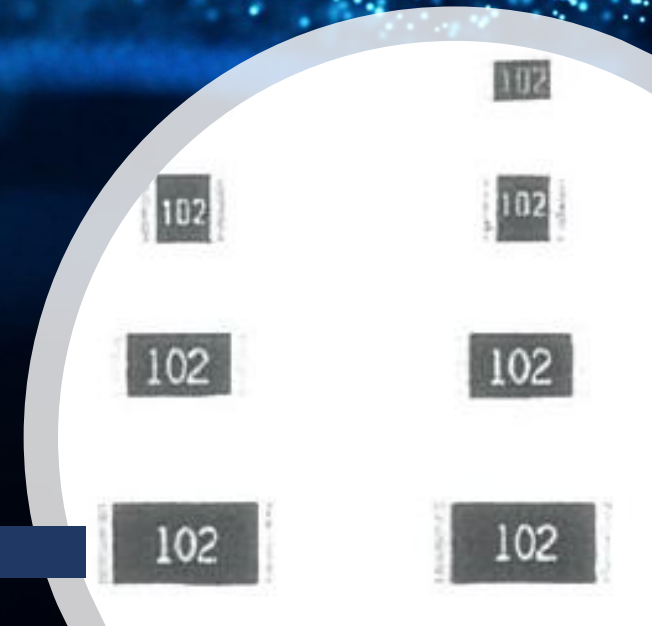
ポリゴン・ミラー・スキャナ用モータ



土曜日開催
1997年エレクトロニクスショー

1990年代 パーソナルメディアのPCと 携帯電話が普及

角型チップ抵抗器



西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
1996年	平成8年		● 世界初DVDプレイヤー発売（東芝、パナソニック） ● 第二次日米半導体協定終結	● 電気吸収型光変調器モジュール開発(日本航空電子工業) ● 変復調回路内蔵赤外線データ通信用IC発表(ローム) ● 10000μF/450Vの面実装用アルミ電解コンデンサ(ニチコン) ● 樹脂多層基板「ALIVH」を量産開始(パナソニック インダストリー) ● 圧電式3軸加速度センサ(北陸電気工業) ● 銅ペーストスルホール基板(北陸電気工業)	※3,034,401百万円 ● 片岡政隆 運営委員長(アルプス電気) ● 第9回世界コンデンサ統計チェアマン会議、第6回世界抵抗器統計チェアマン会議（宮崎） ● エレクトロニックパーツカタログCD-ROM(実用評価版)をエレクトロニクスショーでデモ
1997年	平成9年	● 香港返還 ● 消費税引上げ(3%→5%) ● COP3京都会議開催	● 世界初量産ハイブリット自動車(トヨタ自動車プリウス) ● 4GビットDRAM(NEC)	● 業界初、USB対応ゲームコントローラ(アルプスアルパイン) ● 世界初、デジタル地上波テレビ放送用チューナーおよびIFユニット発表(アルプスアルパイン) ● チップネットワーク固定抵抗器(1105×4)商品化(ローム) ● 携帯電話用アンテナ SMD化(村田製作所) ● 民生機器用7mm型 可変抵抗器販売(東京コスモス電機) ● 世界初、素封止カプセル接点技術を採用した直流高容量リレー「EVリレー」実用化(パナソニック インダストリー)	※3,454,165百万円 ● 部品運営委員会－米国西海岸視察団 ● 21世紀に向けての電子部品の技術対応調査報告書の作成 ● 電子部品技術史プロジェクト編集調査開始 ● 世界半導体会議(WSC)開催 ● データショウ、コミュニケーションTOKYO、JPSAコンベンションを統合して「COM JAPAN」開催
1998年	平成10年	● 長野冬季オリンピック ● アジア経済危機	● 家電リサイクル法案成立 ● iMac発売(Apple) ● Google社創業	● 巻線チップインダクタ[2012サイズ] (太陽誘電) ● TFT用のCGS(連続粒界結晶シリコン)開発(シャープ) ● チップ形導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ発売(日本ケミコン)	※3,608,860百万円 ● 日本電子機械工業会創立50年
1999年	平成11年	● EU単一通貨ユーロ導入	● 世界初DVDレコーダー発売(パイオニア) ● カラー液晶携帯電話発売(シャープ、富士通)	● 超薄型CRTソケット(SMK) ● 携帯電話用 3 和音着信メロディーICの開発(ローム)	※3,599,550百万円 ● 「電子部品技術史」発刊

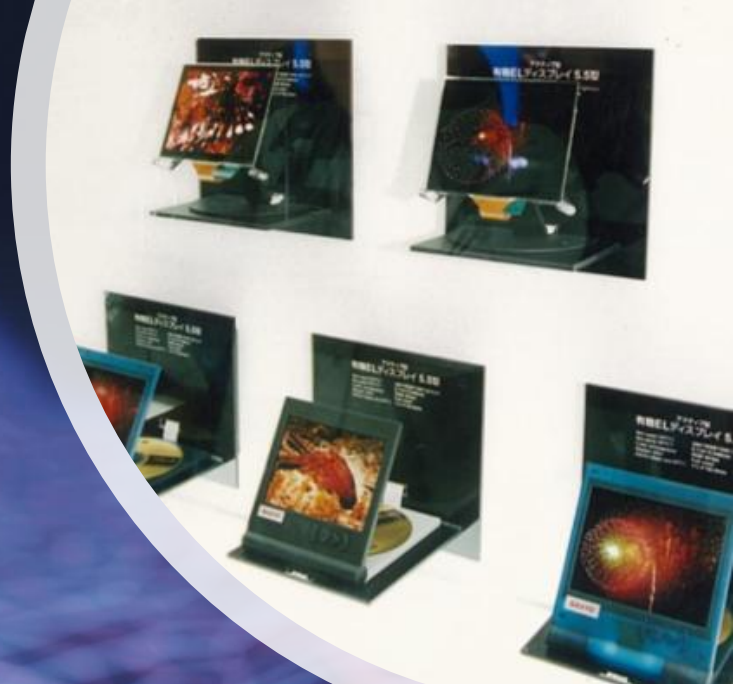
ハイブリッドカー用アルミ電解コンデンサ
CEATEC JAPAN 2001



写真撮影：日本エレクトロニクスショー協会



行啓された皇太子殿下(当時)
CEATEC JAPAN 2002



有機ELディスプレイ
CEATEC JAPAN 2001



電子工作教室
CEATEC JAPAN 2002



CEATEC JAPAN 2000

2000年代
家庭にもブロードバンドが普及して
デジタル家電と繋がる



CEATEC JAPAN 2000

2000年代 インターネット時代：家庭にもブロードバンドが普及してデジタル家電と繋がる

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
2000年	平成12年	● 沖縄サミット	● カメラ付携帯電話発売(シャープ) ● BSデジタル放送開始 ● Google.comが検索エンジン世界最大に	● チップ抵抗器[0603サイズ] ● 国内初、110GHz対応高周波同軸1.0mmコネクタ量産開始(ワカ製作所) ● 高熱膨張 LTCC(低温焼成セラミックス)を量産化(京セラ) ● 業界初構造の平角線パワーインダクタ生産開始(スミダコーポレーション)	※3,956,917百万円 ● 電子情報技術産業協会(JEITA)発足 ● エレクトロニクスショーとCOM JAPANを統合、第1回CEATEC JAPAN ● 第12回世界コンデンサ統計チェアマン会議、第9回世界抵抗器統計チェアマン会議（東京）
2001年	平成13年	● アメリカ同時多発テロ	● 携帯電話3Gサービス開始 ● ETC全国一般利用開始 ● HDD/DVDレコーダー発売(東芝) ● iPod発売(Apple)	● 産業機器向けワンタッチ嵌合小型防水丸形コネクタ開発(日本航空電子工業) ● チップ形導電性高分子アルミ固体電解コンデンサの鉛フリー化に成功(日本ケミコン) ● 次世代携帯電話用φ2.5 6極ジャック、SMT用同軸スイッチ付コネクタ(SMK) ● フォースセンサ(北陸電気工業)	※3,008,481百万円 ● 澤部 肇 部会長(TDK) ● 部品運営委員会を電子部品部会に改称
2002年	平成14年	● 北朝鮮拉致被害者5名帰国 ● サッカーワールドカップ日韓大会	● ADSL等のブロードバンドが普及 ● Amazon Web Services(AWS)を開始	● 業界初、ハプティックコマンド®(アルプスアルパイン) ● デジタル地上波/CATVチューナ発表(アルプスアルパイン) ● チップフェライトビーズ[0603サイズ](村田製作所) ● フォースフィードバックタッチパネル(SMK) ● 小型メモリーカードコネクタシリーズ化(ホシデン)	※2,923,041百万円 ● CEATEC JAPAN 皇太子殿下行啓 ● 電子部品部会傘下の委員会を4つのスタッフ委員会、4つのライン委員会に改組 ● 第1版部品技術ロードマップ発刊

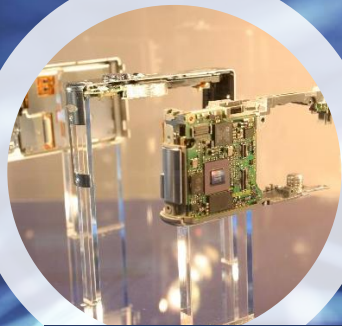
CEATEC JAPAN 2004



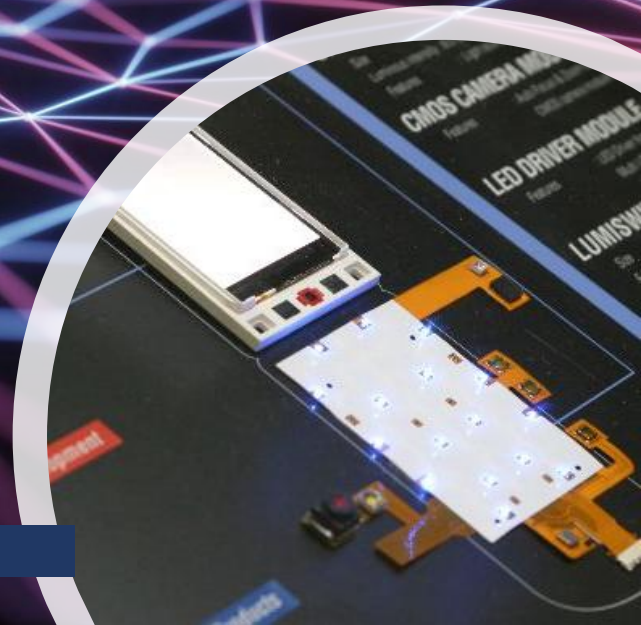
CEATEC JAPAN 2004



CEATEC JAPAN 2004



CEATEC JAPAN 2004



CEATEC JAPAN 2004

2000年代
家庭にもブロードバンドが普及して
デジタル家電と繋がる

CEATEC JAPAN 2005



西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
2003年	平成15年	● イラク戦争勃発	● 地上デジタル放送開始 ● 新・三種の神器(DVD、デジタルスチルカメラ、デジタルテレビ)	● PTCサーミスタ SMD化(村田製作所) ● HDMI規格準拠次世代デジタルインターフェースコネクタを開発、販売開始(日本航空電子工業) ● ネジ端子形電気二重層キャパシタの量産開始(日本ケミコン) ● Bluetoothシリアルポートアダプタ、Windows XPメディアセンターPC向け リモコン送受信ユニット(SMK) ● カメラ駆動用アクチュエーター発表(アルプスアルパイン) ● 多機能スイッチ商品化(ホシデン)	※2,926,404百万円 ● 第1回機構部品事業委員会トップ交流会開催 ● 2010年までの電子部品技術ロードマップ
2004年	平成16年		● Facebook開設	● チップ抵抗器[0402サイズ] ● チップ積層セラミックコンデンサ[0402サイズ](村田製作所) ● 0.4mmピッチ基板対基板コネクタ(SMK) ● 半導体式 3 軸加速度センサ(北陸電気工業) ● アナログジョイスティック商品化(ホシデン) ● キーレス受信用3Dアンテナ商品化(スミダコーポレーション)	※2,958,569百万円 ● 電子部品グローバル動向調査開始 ● 第15回世界コンデンサ統計チェアマン会議、第12回世界抵抗器統計チェアマン会議(東京)
2005年	平成17年	● 京都議定書発効 ● 中部国際空港開港	● YouTube初の投稿動画公開	● 世界初 20,000cd/m²高輝度LEDバックライトを開発(オムロン) ● 単振動フィードバックデバイス フォースリアクタ™発表(アルプスアルパイン)	※2,973,645百万円 ● 村田泰隆 部会長(村田製作所) ● 電子材料工業会の統合により、電子部品部会傘下に電子材料事業委員会を設置 ● 2014年までの電子部品技術ロードマップ

写真撮影：日本エレクトロニクスショー協会

CEATEC JAPAN 2007

世界初「有機ELテレビ」誕生

XEL 1

CEATEC JAPAN 2007

CEATEC JAPAN 2006

CEATEC JAPAN 2009

2000年代
家庭にもブロードバンドが普及して
デジタル家電と繋がる

地上デジタル放送のPR
CEATEC JAPAN 2005

CEATEC JAPAN 2008

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
2006年	平成18年	● 日銀が量的緩和解除(ゼロ金利解除)	● Wii発売(任天堂) ● Twitterで初のツイート(つぶやき)が投稿 ● Samsungがテレビ世界シェア1位	● 積層セラミックチップコイル[0402サイズ](TDK) ● 業界初、車載ECU仕様の電源ライン用コモンモードフィルタ(TDK) ● 2.4GHz無線通信モジュール(SMK) ● HDMIコネクタ商品化(ホシデン)	※3,356,318百万円 ● ものづくり教室
2007年	平成19年	● 日本郵政公社民営化	● 世界初有機ELテレビ発売(ソニー) ● iPhone発表(Apple)	● 積層チップバリスタ[0603サイズ](TDK) ● 国内初 電流検出器を内蔵したソリッドステート・リレーを開発(オムロン) ● 太陽電池モジュール用コネクタ、携帯電話用小型・薄型1ドームスイッチ、カーナビ用高耐熱フィルム+ガラス低反射タッチパネル(SMK) ● ACアダプタシリーズ化(ホシデン) ● 世界最小・最薄のチップLED「PICOLED(ピコレッド)」を開発(ローム)	※3,462,893百万円 ● 第18回世界コンデンサ統計フェアマン会議(京都) ● 2016年までの電子部品技術ロードマップ
2008年	平成20年	● リーマンショックによる世界的金融危機	● iPhone 3G日本発売(ソフトバンク) ● Android搭載スマートフォン(HTC) ● Tesla初の生産車両「ロードスター」	● 薄膜コモンモードフィルタ[0605サイズ](TDK) ● 業界初、車載用クランプフィルタ(TDK) ● LCDバックライト用0.1mm以下のシート型導光板を開発(オムロン) ● 広角タイプ車載用カメラモジュール、Bluetooth オーディオモジュール(SMK) ● 車載用多機能操作デバイス eクリックチェンジャ™発表(アルプスアルパイン) ● 業界最小トランジスタ(0805サイズ)を開発(ローム)	※3,091,386百万円 ● 片岡政隆 部会長(アルプス電気) ● 第1回機器・部品メーカー合同懇談会 ● グリーンIT推進協議会設立
2009年	平成21年	● 裁判員制度開始		● 光学式近接/照度センサの開発(ローム) ● 世界初 MEMSアコースティックセンサチップを開発(オムロン) ● 低誘電損失アルミナを開発(京セラ) ● マルチタッチ入力対応小型静電容量方式タッチパネル(SMK) ● ハイブリッド車用 昇圧リアクタ(タムラ製作所) ● ジャイロ機能付き3軸地磁気センサー発表(アルプスアルパイン) ● DisplayPortコネクタ商品化、MEMSマイクロホン商品化(ホシデン)	※2,197,771百万円 ● 2018年までの電子部品技術ロードマップ

CEATEC JAPAN 2010



各社3Dテレビを発表
CEATEC JAPAN 2010



CEATEC JAPAN 2012



CEATEC JAPAN 2012



東京モーターショーと共同メッセージ
CEATEC JAPAN 2011

2010年代
インターネットがパーソナルレベルで
普及してSNSが隆盛



EV充電
CEATEC JAPAN 2011

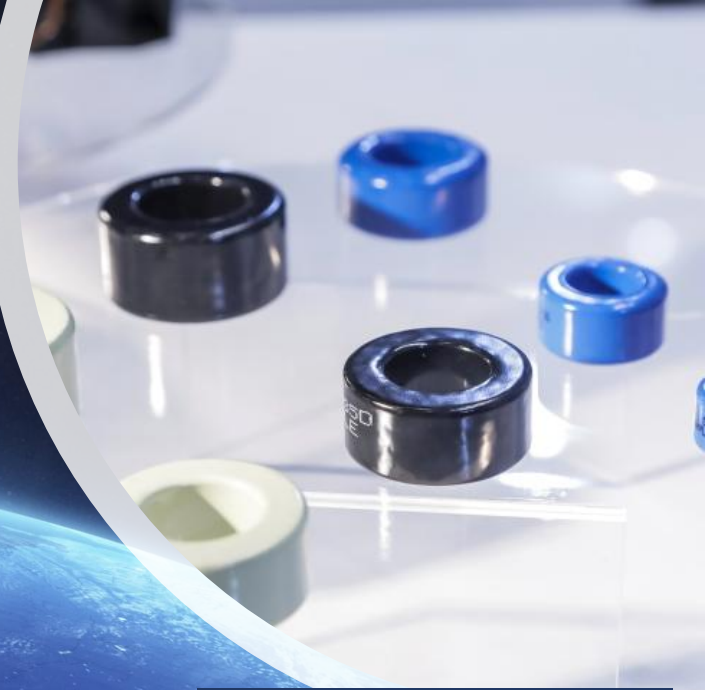
2010年代 スマートフォン時代：インターネットがパーソナルレベルで普及してSNSが隆盛

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
2010年	平成22年	● 東北新幹線全通	● 携帯電話4Gサービス開始 ● 3Dテレビブーム ● iPad発売 (Apple)	● 世界初、SiC-DMOSFET量産(ローム) ● 世界最小、MEMSマイクロフォン(TDK) ● コードスイッチP'GRID [新クリック構造] 量産(東京コスモス電機) ● スマートフォン向け フレキシブル基板用溶剤レジスト(タムラ製作所) ● 柔軟性を有する結晶性グラファイトシート(パナソニック インダストリー) ● 太陽光発電システム用コネクタ商品化(ホシデン)	※2,670,615百万円 ● 第1回在米部品懇談会
2011年	平成23年	● 東日本大震災 ● 福島第一原発事故	● 世界初の4Kテレビ受像機発売(東芝) ● LINEアプリサービス開始 ● Samsungがスマホ世界シェア1位	● チップ抵抗器[03015サイズ](ローム) ● 車載用ヘッドランプ、リアランプ向けLEDドライバの開発(ローム) ● 世界初 電鍍技術を用いたコネクタを開発(オムロン) ● スマートフォン向けφ3.5イヤホン用防水ジャック、ZigBee® RF4CE対応RF標準リモコン 標準受信機(SMK) ● 静電容量式タッチパネル生産開始(アルプスアルパイン) ● 水位センサ(北陸電気工業)	※2,385,203百万円 ● 上釜健宏 部会長(TDK) ● 統計事業「電子部品企業のグローバル動向調査」第3回JEITA会長賞受賞 ● 2020年までの電子部品技術ロードマップ ● CEATEC AWARD創設
2012年	平成24年	● 東京スカイツリー竣工 ● 尖閣諸島問題で反日激化 ● 歴史的円高 1\$=75.35円	● 世界初量産電気自動車(日産自動車 リーフ)	● チップ積層セラミックコンデンサ[0201サイズ](村田製作所) ● フィルムインダクタ[0201サイズ](村田製作所) ● 薄膜コモンモードフィルタ[0403サイズ](TDK) ● 高精度・低消費電力の絶対圧センサー開発(オムロン) ● スマートソニックレシーバ量産(京セラ) ● 乗用車向けに減速エネルギー回生用電気二重層キャパシタ供給開始(日本ケミコン) ● チップ形導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサ発売(日本ケミコン) ● エンコーダーP'GRID [新クリック構造] 量産(東京コスモス電機) ● ハイパーポゴ®ターミナル、バッテリー接続用FPC対基板コネクタ(SMK) ● 導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサ量産開始(パナソニック インダストリー) ● 世界初 フルSiCパワーモジュールの量産、車載用 絶縁ゲートドライバの開発(ローム) ● RFID(IC、コイル一体化)商品化(スミダコーポレーション)	※2,434,992百万円 ● 第1回世界インダクタ統計チェアマン会議(ワシントンDC) ● 雇用維持対策に関する提案 ● 日本経済新聞 電子部品特集掲載開始 ● CEATEC AWARD 総務大臣賞、経済産業大臣賞交付

CEATEC JAPAN 2013



CEATEC JAPAN 2013

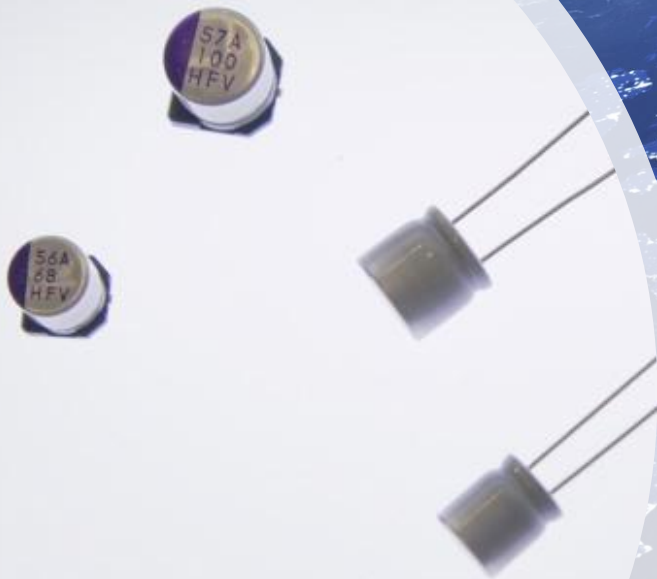


CEATEC JAPAN 2015



CEATEC JAPAN 2014

2010年代
インターネットがパーソナルレベルで
普及してSNSが隆盛



CEATEC JAPAN 2015



CEATEC JAPAN 2014

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
2013年	平成25年		● 東京スカイツリーからテレビ電波送信開始 ● LenovoがPC世界シェア1位	● 世界初積層メタル系パワーインダクタ(太陽誘電) ● 世界最小、積層パワーインダクタ[1005サイズ](TDK) ● FAKRA規格対応 SMB同軸コネクタ、業界初 Wi-Fi Direct™対応リモコン送信機(SMK) ● 酸化ガリウムMOSトランジスタを世界で初めて実現(タムラ製作所) ● Bluetooth®モジュール商品化、静電容量方式タッチパネル商品化(ホシデン)	※2,311,903百万円 ● 村田恒夫 部会長(村田製作所) ● 医療機器対応TFを設置し「医療機器への電子部品供給ガイド」作成 ● 組織改革TF設置 ● 2022年までの電子部品技術ロードマップ
2014年	平成26年	● 消費税引上げ(5%→8%)	● 4K試験放送開始(スカパー!) ● 4K VOD配信開始(ひかりTV) ● 世界初燃料電池車(トヨタ自動車 MIRAI)	● エレファンテック（Ag IC 設立） ● 高周波用チップインダクタ[0201サイズ](村田製作所) ● 積層チップセラミックコンデンサ[01005サイズ参考出品]／チップインダクタ[01005サイズ参考出品](太陽誘電) ● 世界最小トランジスタ開発(ローム) ● 業界最小、積層ダイプレクサ[1005サイズ](TDK) ● Bluetooth®4.0LE対応 標準多機能リモコン(SMK) ● 車載用LTEモジュール発表(アルプスアルパイン) ● 容量式湿度センサ(北陸電気工業)	※2,413,487百万円 ● コンプライアンスに関する基本指針を策定し、JEITA全体の指針として制定 ● 第21回世界コンデンサ統計、第16回世界抵抗器統計、第2回世界インダクタ統計チェアマン会議(沖縄) ● 第1回パワーエレクトロニクス若手技術者交流会 ● 海外調査(インフラ調査班)：インド、スリランカ ● 海外調査：MEDICA(独・医療機器展示会) ● 第50回 Inter BEE
2015年	平成27年	● 北陸新幹線金沢開業	● Apple Watch発売(Apple)	● 次世代USB規格「Type-C®」準拠のI/Oコネクタを開発、販売開始(日本航空電子工業) ● 業界最薄の柔軟な断熱シート「NASBIS®」量産開始(パナソニック インダストリー) ● 車載用高速信号伝送コネクタシリーズ化(ホシデン) ● 世界初、SiC駆動用AC/DCコンバータ制御IC／世界初、トレンチ構造採用のSiC-MOSFET(ローム)	※2,646,981百万円 ● 栗山年弘 部会長(アルプス電気) ● 海外調査：IFAベリンショー ● 海外調査：CES、シリコンバレー ● 2024年までの電子部品技術ロードマップ

スマートグラス
CEATEC JAPAN 2016



ドローン
CEATEC JAPAN 2016



レセプションに来臨された安倍首相(当時)
CEATEC JAPAN 2016



CEATEC 2019

2010年代
インターネットがパーソナルレベルで
普及してSNSが隆盛

CEATEC JAPAN 2016



4K対応テレビ
CEATEC JAPAN 2018



西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
2016年	平成28年	● 熊本地震	● BS4K試験放送開始(NHK) ● パリモーターショーで「CASE」提唱(Mercedes-Benz)	● 高画素対応車載カメラモジュール用小型同軸コネクタ(SMK)	※2,527,755百万円 ● 2026年までの電子部品技術ロードマップ ● JEITAベンチャー賞創設
2017年	平成29年		● Nintendo Switch発売(任天堂)	● 世界初、充放電可能なSMDタイプ全固体電池(TDK) ● 国内初、145GHz対応高周波同軸0.8mmコネクタ販売開始(ワカ製作所) ● 次世代産業機器通信コネクタ開発(ヒロセ電機) ● ねじ無し端子台開発(ヒロセ電機) ● 高多層ボード量産(京セラ)	※2,644,981百万円
2018年	平成30年		● BS4K/BS8K放送開始	● 積層チップセラミックコンデンサ[静電容量1000uF](太陽誘電) ● 1008サイズ 超小型水晶振動子量産(京セラ) ● 車載用小型同軸中継コネクタ商品化(ホシデン)	※2,730,205百万円 ● 村田恒夫 部会長(村田製作所) ● 海外調査：CES ● 車載デバイスに関する将来展望調査TF
2019年	令和元年	● 米中貿易摩擦 ● 消費税引上げ(10%)		● 反射率50%低減ダイレクトボンディング LCDモジュール(SMK) ● 世界初、1700V SiC MOS内蔵AC/DCコンバータIC(ローム) ● ブロックチェーン活用デジタルキーシステム開発(アルプスアルパイン) ● 積層セラミックコンデンサで最薄 0.064mm 厚を実現(太陽誘電)	※2,623,869百万円 ● 全固体電池に関する調査TF ● 海外調査事業：中国（北京、雄安新区、重慶） ● 2028年までの電子部品技術ロードマップ ● 女性活躍ワークショップ ● CEATECに改称

CEATEC 2022



CEATEC 2022



CEATEC 2022



CEATEC 2023



2020年代
進化するAIの社会実装によって
仕事と暮らしが大きく変化

CEATEC 2023

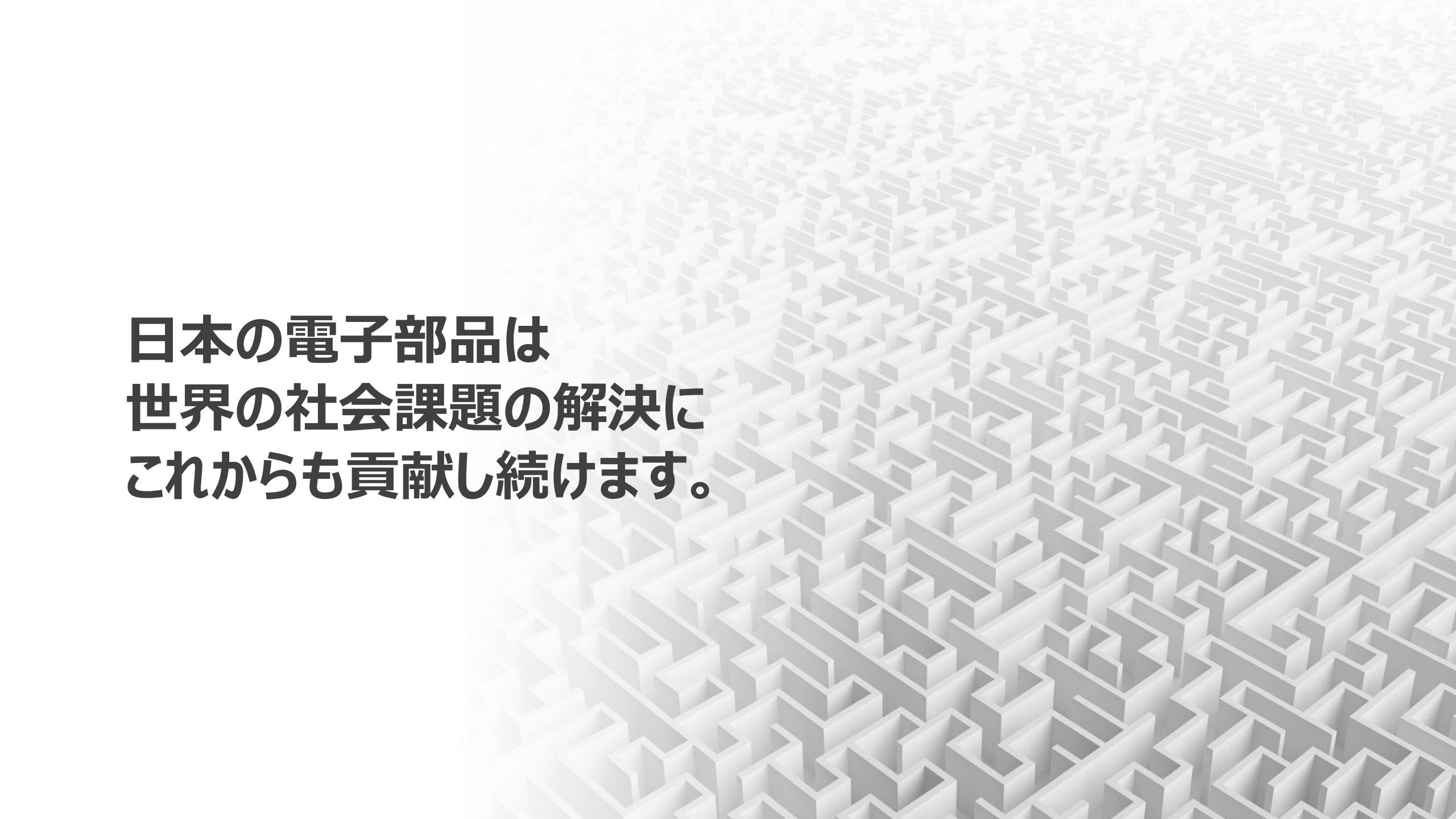


CEATEC 2022



2020年代 AI時代：進化するAIの社会実装によって仕事と暮らしが大きく変化

西暦	和暦	社会の出来事	電気通信業界	電子部品業界（社名は現社名）	業界活動 ※電子部品生産額
2020年	令和2年	● COVID-19パンデミック	● 携帯電話5Gサービス開始 ● Huaweiがスマホ世界シェア四半期ベースで初の1位	● スマートテキスタイル対応コネクタを開発、販売開始(日本航空電子工業) ● 高感度CMOSレーザーセンサーE3AS-HL(オムロン) ● デュアルモードBluetoothモジュール(SMK) ● 車載カメラ用コネクタ商品化、A²B®マイクロホン商品化(ホシデン)	※2,795,679百万円 ● 澄田誠 部長(TDK) ● 海外調査事業：米国(CES、テキサス) ● 第24回世界コンデンサ統計、第19回世界抵抗器統計、第5回世界インダクタ統計(日本主催：オンライン会議開催) ● 5G利活用型社会 デザイン推進コンソーシアム設立 ● CEATECオンライン開催
2021年	令和3年	● 東京オリンピック	● Xiaomi、Vivoがスマホ世界シェア四半期ベースで初の1位	● 日本初、C-V2X 機能搭載の車載用 5G NR モジュール「UMNZ1シリーズ」(アルプスアルパイン)	※3,304,605百万円 ● 電子部品カーボンニュートラル検討会 ● Green×Digitalコンソシアム設立
2022年	令和4年	● 安倍晋三氏銃撃事件 ● ロシアのウクライナ侵略	● Chat GPT公開	● コネクタの銀めっき膜の摩耗を抑制し、省資源化や製品の長寿命化に貢献する新技術を開発(日本航空電子工業) ● オンボード光電気集積モジュールを開発(京セラ) ● ロック機構付高信頼性FPC/FFCコネクタ(SMK) ● 世界初、空中表示/入力デバイス「ステルス空中インターフェイス」共同開発(アルプスアルパイン) ● 透明導電フィルム商品化(パナソニック インダストリー)	※3,396,552百万円 ● 栗山年弘 部長(アルプスアルパイン) ● 臨時役員会 「電子部品産業の課題共有資料」をとりまとめ、METIに提示 ● 電子部品プロモーションWG ● 第10版電子部品技術ロードマップ ● 中堅女性総合職キャリア研修会
2023年	令和5年	● ハマスがイスラエル攻撃／イスラエルがガザ侵攻		● 低発熱高容量リレーG9KA(オムロン)	※3,166,245百万円 ● 電子部品部会 CEATECに出展「日本の電子部品産業の特長と強み」を訴求
2024年	令和6年	● 能登半島地震		● チップ積層セラミックコンデンサ[016008サイズ](村田製作所) ● 液体水素用ハーメチックシール(気密端子)を開発(京セラ)	● 中島規巨 部長(村田製作所) ● 電子部品産業一世紀を祝う会 ● 第25回CEATEC



**日本の電子部品は
世界の社会課題の解決に
これからも貢献し続けます。**